(三面)（原満州電報）（昭和十年五月九日第三種郵便物認可）昭和七年六月十六日

臺灣日日新報 夕刊

六月十五日

臺灣日日新報（夕刊）（水曜日）第一万一千五百六十一號 (一)

第六十二臨時議會 けふ閉院式を擧行

兩院議員嚴かしく參列

【東京十五日發電通】帝國議會兩院議員の總會たる第六十二臨時會は二週間の會期を滿了し、十五日貴族院に於て勅語奉讀の式の行はるる所に於り行はれるもので、この日天皇陛下には親臨あらせられ、勅語を賜はるが、この勅語は兩院議長之を奉讀し、各議員は謹んでこれを聽くことゝなつてゐる。

【東京十四日發電通】內閣書記官長は十四日午後二時半から貴族院、衆議院兩議長、各議員代表に對し、十五日閉院式を擧行する旨を通知した。

外相就任を正式受諾

內田伯、首相との會見に於て 親任式は來月初め

【東京十四日發電通】內閣總理大臣は十四日午後二時半から貴族院、衆議院兩議長、各議員代表に對し、十五日閉院式を擧行する旨を通知した。

【東京十四日發電通】內田新外相

人露は拒絶され 馬占山、身の置所なし

昔の馬賊に立ち返つて 掠奪しつつ外蒙古落ちか

【新京十五日發電通】滿洲國側への情報に依れば、馬占山は愈々身邊に危險迫り、家族と共に露國に亡命すべく黒龍江より ブラゴエシチエンスクに通人を派遣交渉中の所、十三日午後二時ソビエット官憲は馬の入露を峻拒したので身の置所なくなり、先づ家族を參謀長吳松林に託し、外蒙古に遁入せしむべく張家口に出發せしめたが、又昔の馬賊に立返り黒河を掠奪の上その後を追ふべしとの風說行はれ、人心極度の不安に陷つてゐると

中等學校野球團を 「今夏內地から招聘

臺灣體育協會の手で

臺灣體育協會では今夏中等學校野球チームを本島に招聘して中等學校野球大會を開催すべく既にスケジュールにも決定せる所であつたが、最近內地の野球界の上京を機に文部省當局と協議したる所文部省當局は學生旨も大體之を認めたるものの如く、近く正式に文部省と打合せの上決定を見ることとなるが、期日は大體八月中旬より下旬頃となる模樣で招聘チームは四國の松山商業か高松商業か函館商業かに落着するものと見られるが、大會主催の全國中等學校優勝野球大會の四國地區豫選は七月二十四日から八月二日迄行はれるか、其後に決定を見ることとなる筈

伊太利は 日本と對戰

デ杯庭球試合

【モントルー十四日發電通信特電】デ杯庭球ソーン決勝イタリー對スイス第二日シングルスは一勝一敗となり結局イタリーは三對二にて勝ち初決勝で日本と對戰することとなつた

バルニエリ（イタリー）	六十三	エリマン（スイス）
アイフンヤー（イタリー）	七十五	ステア（スイス）
	八十六	

骨を臺灣に 埋める覺悟

中川總督門司で語る

【門司十五日發電話】中川總督は午後七時門司着、直ちに三井倶樂部に入つたが、夫人は病氣の爲め神戸から關東丸で十五日朝門司に着いたが、夫人に關しては何等もないとて

日本クラブに 短銃を發射

ベルリンで共產黨員 五名が襲撃して

【ベルリン十四日發】十四日午後ピストルを携へた五名の共產黨員が突然ベルリン日本人倶樂部を襲ひ、三回に亙りピストルを發射し「共產黨萬歲」を叫んで逃走したが、幸ひ一發も命中せず、同倶樂部にては直ちに警察に通報し、警官隊出動して犯人の捜査に當つてゐる

臨時列車 運轉

十五日と十六日

十六日は大相撲觀戰團參與の爲參宮者多數に付鐵道部では例年通り臨時列車を運轉

ソプラノの 佐藤美子さん歸る

過佛五年、音樂研究中であつたソプラノの佐藤美子さんは十一日午後四時五十五分東京驛へ華やかに歸朝した。右は歸朝した佐藤美子さん（中央）

談洲樓燕枝 今晚から放送

十五日本社で氣焰

JFAKから滿鐵奉天に放送するために十四日來社した談洲樓燕枝氏は十五日本社に來訪した

「今晚から、落の方でお目見得しますからよろしく……滿洲は景いなどと云はれますが、なかに來て見れば大した事はありません」

と笑つて扇子をヘシ折もみなさい、茶瓶の十五日間ラヂオ出演に招

有職者の 所得に增稅

獨內閣、五項目の 緊急令發布

【ベルリン十四日發電通】ベルリン內閣は十四日大統領の署名を得て左の五項目よりなる緊急令を發布した

一、失業者の利益の爲め有職者の賃銀俸給に所得稅二分五厘增加す

二、失業保險により支給金を二回三分減じ、他の自治體の失業手當を二回乃至二回五分減少す

三、大戰傷病兵寡婦兒の年金を減額して

殘月譜 (205)

志乃田西司作
清水三重三畫

蜻蛉床（六）

古い昔の御寮だ。

ひに來さ

「ふ」

艇三が、元気な聲をそうた。

「呪せる！」

三子ケ淵が、手を揚つた。

「笑つ殺り、女の方位選ばずかね」

「不謹慎だよ」

三子ケ淵の、もつともらしい顔

「時に、艇の自殺」

艇三は唇を出した。

「いかしくになるのだね」

「おや、艇ちやん、今、聞、何處に居るのだい？」

「本所さ」

三子ケ淵は、物知顔して、艇三を眺めた。

「何處かへ、御奉公にでも行くのかい。旅下水屋りの！」

「いゝや」

艇三は笑つた。

「ああ、違ふ、違ふだ。艇は學校を休んで、ちやんと、學校へ行つてるんだ。」

「嘘つき！」

「本所！」

三子ケ淵が、大聲を出した。

「いくら、以前はお大盡でも、艇ちやんが、學校を今更作らなくなつていいよ」

「嘘だ？」

「さうさ、さうだとも云へないことはないさ」

「おい〳〵、艇ちやん」

三子ケ淵が笑ひ出した。

「先刻、云つた女郎買ふつて云ふのは嘘だつて云ふことさ、いいかい、第一が寺男ぢやねえか、それに、藝妓へ行つて、艇と一處に寢て居たつて、どうせ、もとよりこの生涯の覺悟はだ最前の經驗不能の淫行ではないが、日本人の悪癖なりではないものの、悪癖の癖あり覺悟をも要求するものである。彼はもちろんである。それは兎も角、來る問題が決して

ユーモアに

なかつた事はかつて生存發展氏が云つてゐたが、極一般的なものでも、例へば川柳、狂歌、落語など申さに數くない。かつこの中には諷刺文學として相當に生きたユーモアの新鮮味を缺くなら、碧くこの方面に關ふべきではあるまいか？それにつけても思ひだすのは

この間の岡本一平氏の漫畫漫文は多分にファンテイが缺いてゐた事である。殊に氏のそれには一つの傑作があり、氏の漫畫はいはゆる日本的な諷刺の味はひを持つてゐた。この點氏は正に漫畫家としてユニクな存在であつた。ユーモアを解しない人間はどかくなそしてバサ〳〵なものはない。人間はこの忙しい、思い男が……とは思ひながらも上面では笑顔を振りまかなければならない客商賣！——おけみは若いかつた。

「あんたが此處のマダムと知つてゐたら、もつと早く來るんだつたわ」

「さうですか？」

「さうさ、きつと逢へるわ」

「ふゝん、きつと逢へるわ」

「あなたはさう信じる？」

「ふゝん、お姉樣が一時の悲しみを忘れて生きてさへいらつしやれば、善機がきつと、きつと巡はせて下さるわ」

さう言ふ香織の眼は何か宗教的な輝きに滿ちて居た。おけみはその眼だけに惑められて死ぬことだけは思ひ止まつた。そして、生きるために「おけみ」といふ職場を聞いた。

然しそれを見ると世間はまた彼女に輝やくと戀美の眼を向けた。まだ二……さういふ時方強く植に力つけや、どうとするのは彼の香織だつた。

「そんな氣の弱いことを仰有つちや駄目よ。生きてさへいらつしやれば、いつかは櫻子ちやんに逢へることもあるぢやありませんか！」

「さうですか？」

「ふゝん、きつと逢へるわ」

「あなたはさう信じる？」

「ふゝん、お姉樣が一時の悲しみを忘れて生きてさへいらつしやれば、善機がきつと、きつと巡はせて下さるわ」

さう言ふ香織の眼は何か宗教的な輝きに滿ちて居た。おけみはその眼だけに惑められて死ぬことだけは思ひ止まつた。そして、生きるために「おけみ」といふ職場を聞いた。

然しそれを見ると世間はまた彼女に輝やくと戀美の眼を向けた。まだ二……さういふ時方強く植に力つけや、どうとするのは彼の香織だつた。

「そんな氣の弱いことを仰有つちや駄目よ。生きてさへいらつしやれば、善機がきつと、きつと巡はせて下さるわ

(四) 昭和七年六月十六日 (木曜日) 臺灣日日新報 第一万一千五百六十一號 (第三種郵便物認可)

漢文 臺灣日日新報

內田總裁決就外相
訂來月初旬舉行親任式

十四日東京電。內田滿鐵總裁。外相親任式。訂來月初旬舉行云。

將士。皆極緊張云。

詩先歸任上京就之
當限授受懸念 蓬萊米 意外大波瀾

十四日東京電。內田滿鐵總裁。十四夕。與齋藤首相會見。言明如左。

外相就任。固所受諾。但在滿洲有宜解決問題。一應歸任大連。更行上京。正式受諾。而後舉行親任式。

結果內田總裁。二十五日頃。一旦歸任大連。求木正關東軍司令官諒解。且整理殘務。而後上京。來月初舉行親任式。總裁後任。亦從軍部決向。內田總裁既與首相總談云。

中外要電
新任美使呈國書

新任美使呈國書。午前十時三十五分。偕參事官以下十名。乘宮內省儀仗之下。隨黑田騎兵儀仗之下。隨黑田騎兵儀仗。進國廳間。十一時。林式部長官等侍立。拜謁天皇陛下。白鳥御川掛通譯。奉誦聖安。敘來朝。新任之禮。捧呈信任狀。及前任大使解任狀。陛下賜之優渥物語。握手為禮。更偕夫人令嬢。乘馬車歸館。午前十一時。式部官參內。進國廳間。

兩相協議總裁後任
十名以內人物本位

十五日東京電。齋藤首相。與內田總裁會見後。十四日夜八時。招永井拓相到私邸。報告內田總裁意向。相與協議云。

陸相亦勸伯就外相
答之如左

十五日東京電。內田滿鐵總裁。十四日午後五時十五分。於官邸訪荒木陸相。被懇勸就任。此次上京。余深感滿鐵總裁。關係重大。決意不就外相之任。故與首相第一次會見謝絕之。然首相懇切力勸。且觀國內事情。特如本日議會情況等。始終謝絕。非所以忠於國家。此際決不顧及一身利害。唯思如何奉公。乃能盡善。大為之遽焉。荒木陸相答之如左。

人事問題。非所干與。然伯爵何處奉公。乃為適當。絕對斷定不得。然今日北之滿洲直接問題。滿洲關聯帝國對列國之國際關係。則當為主。總裁後任。如似其人。此際外相一席。或當勉就。余亦私心希望之。

總裁後任伯必能薦
消極動之就任外相

十五日東京。與內田滿鐵總裁會見後。荒木陸相。語人如左。

內田伯曾任總裁。與就任外相歟。何者所以忠於國家方為之述。余此際亦望伯就任外相。然滿蒙失伯難。現在國際關係為主。如世間所傳。此事得齋藤首相。後任總裁。別無所言。伯與首相決之則可。信伯必能擔當能人。外相就任前。先歸任滿洲。伯全無就任外相之意上京。別無不思議事也。

始政記念日
記念式

來十七日。值第三十七回始政紀念日。總督府。自午前九時起。在府會議室舉紀念式。式順如左。

一、諸員參入整列。
二、總督參入。
三、文官總代。向總督上申祝辭。
四、總督答禮。
五、總督退出。諸員退出

安保大將
兩中檢閱

十四日馬公發特電。是夜陸軍。至十四日猶未晴。安保特命檢閱使。午前十八。即像。定檢閱軍艦北上。第三十五團逐隊行。契。

第六十二回臨時議會
閉院式十五日舉行
齋藤首相奉旨捧讀勅語

十五日東京電。齋藤內閣最初議會。即第六十二議會。二議拜會期。安然告終。十五日。閉院式。在貴族院。照皇室儀制令所定舉行。天皇陛下。不親臨。齋藤首相。各閣僚。德川。秋田。近衛長。各議員。服燕尾服。或他禮服。佩用勳章。午前九時半頃。陸續登院。十時。服燕尾服。佩勳章。首席本大臣。陸軍。至十四日猶未晴。午前十一時。服燕尾服。佩勳章。首席本大臣。安保特命檢閱使。午前十一時。服燕尾服。佩勳章。首席本大臣。

舊督府衙移轉改築
敷地擬並列於在北空地

督府舊衙。督府衙。處分問題。面之于市。然市則以公園其敗地。無償排下於臺北州。依何法處分。事經臺北市。種々協議。結果作成處分案。經州送往督府。依談案。即以舊府衙北空地。由臺灣銀行。到港埠築臺築九層樓。新公園。對此。在內務局意見。以為保存其一部。答之如左。

人事問題。非所干與。然伯爵何處奉公。乃為適當。絕對斷定不得。然今日北之滿洲直接問題。滿洲關聯帝國對列國之國際關係。則當為主。總裁後任。如似其人。此際外相一席。或當勉就。余亦私心希望之。

霞海城隍
繞境路闢

稻江霞海城隍。遶境路闢。業已決。定如次。

日之酉。十三日。為防陸雨。決于午前。正十時。然放煙火為號。神輿啓駕。在保安宮取齊。經大龍峒街頂下午。歷東街。入金保街。直行至中街。右折入舊媽祖宮口街。轉建昌街。出六館街。由大東行前。透南街。轉舊媽祖宮後街。出太平通。經九間仔街。至太平公。校角餐入。媽祖宮前。為最適地。會非公式

地方長官免官休職
十名以內人物本位

十五日東京電。地方長官異動。內務首腦部。極秘調查。近將成案。且經山本內相決裁。更迭方針。力排一政黨弊斷。人物本位。公正善良。結局免官休職者。此於十名以內。新進拔擢。及復活者半々。地方官異動。範圍相當廣汎云。

舊港漁港
工費六十萬圓
將計上豫算案

十四日神戶木村特電。中川總督。十四日午前十時。在內務局長室。招見新任所長東海氏。及宮崎。藤瀧兩技師。對此。新公園。對此。在內務局意見。以為保存其一部。

建設明朗新臺灣
中川總督船中談

十四日神戶木村特電。中川總督。偕其夫人。乘能澤氏。及宮崎。藤瀧兩技師。午前十時。乘日本郵船會社。香港丸。出神戶港。向臺灣。午前十時。與內務局長。及各課長。會議。午前十時。與內務局長。及各課長。會議。午前十時。與內務局長。及各課長。會議

（毎月一回發行）　（昭和二年三月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報

京大教授 法學博士 佐々木惣一著 日本憲法要論 訂正版發行 東京帝大令旨奉體 憲法學の最高權威 金剌書店 東京市神田區小川小路

日本憲法要論

中等英語問題

研究社十雜誌 七月號發賣！

教室の學年

三年の英語

二年の英語

一年の英語

英語研究

上級英語

教室の學年

三年の英語

二年の英語

一年の英語

上級英語

教室の學年

三年の英語

二年の英語

一年の英語

上級英語

受驗と學生

志望學校研究號

七月特輯

教室の學年

三年の英語

二年の英語

一年の英語

上級英語

教室の學年

三年の英語

二年の英語

一年の英語

上級英語

教室の學年

三年の英語

二年の英語

一年の英語

上級英語

受驗と學生

志望學校研究號

七月特輯

腹痛・下痢に

ダイモール

洋服特價提供

黒セル

白セルズボン

白ポプリン

白ボンチ

洋服學校

鼠セル

白セルズボン

白ポプリン

白ボンチ

洋服學校

洋服特價提供

黒セル

白セルズボン

白ポプリン

白ボンチ

洋服學校

鼠セル

白セルズボン

白ポプリン

白ボンチ

洋服學校

腹痛・下痢に

ダイモール

傳染病予防

便所臭氣

吉岡石灰

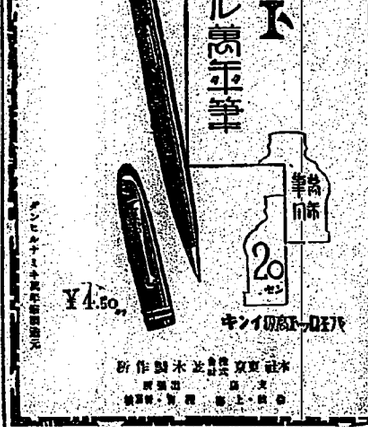
腹痛・下痢に

ダイモール

岩田の自轉車

ペンシルロット

新製 ペンシル萬年筆



岩田の自轉車

腹痛・下痢に

ダイモール

洋服特價提供

黒セル

白セルズボン

白ポプリン

白ボンチ

洋服學校

鼠セル

白セルズボン

白ポプリン

白ボンチ

洋服學校

ラヂオ演藝の寄贈！

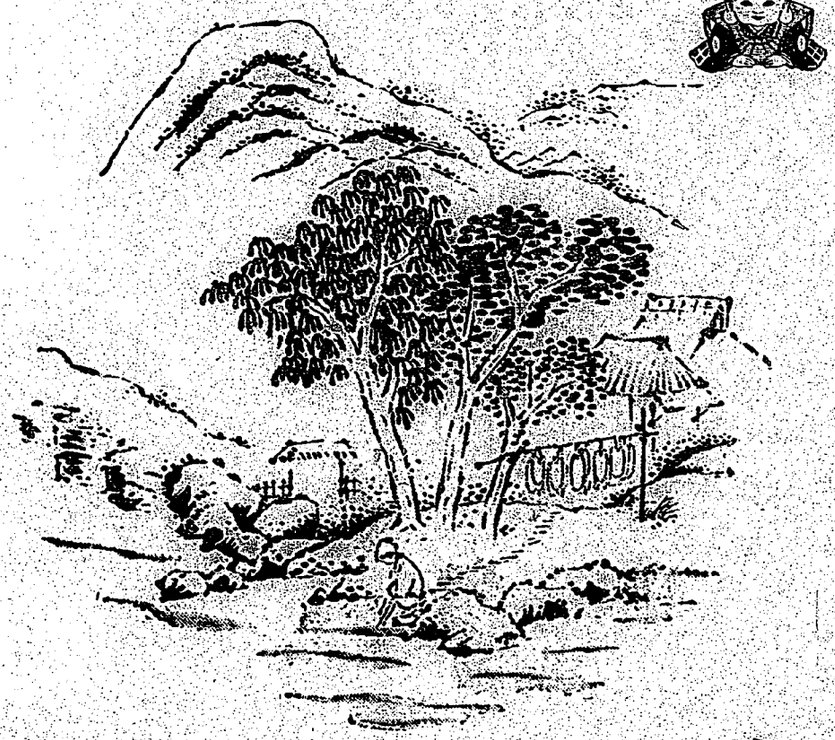
六月十六日午後八時半よりのラヂオ演藝夜間放送は、ライオン齒磨本舗が、御愛用各位に對する謝恩の意味で寄贈したものであります、何卒藝界第一人者の名技を心ゆくまで御鑑賞下さいませ。

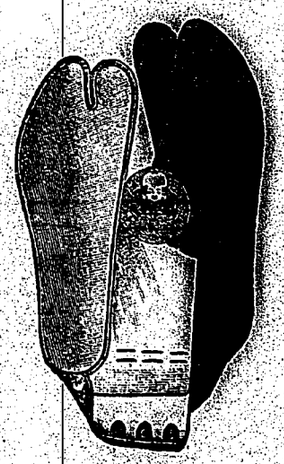
ライオン齒磨本舗

謹告

夏を消す 絹寒冷紗裏

福助夏足袋



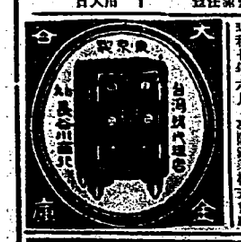


水邊住話

鮎あり、翠嵐まねけば人に清爽優雅、餘韻の殘る、足許美しき福助夏足袋あり

よい恰好の足にする洗ひばえのする足袋

運動用具は



●志望學校選定の眼目　●學校選定即職業選定　●高校の科類とその選び方　●高專入試科目の總點及配點　●本年度高專入學者學歷別調　●學校選擇に就ての一言　●一高一箇年の學費及共濟部　●どの高校が大學に入るか　●學生の內職種々相　●全高校生の動向と大學受驗界　●卒業迄に要する學費調　●新受驗者に備へる答案解剖及落の分岐點と高校數學問題　●作圖題を解く順序に就て　●受驗生生活の健康對策

七月十四日發賣（郵稅二錢）　定價金二十錢

志望學校研究號

東京麹町區富士見町六丁目　研究社　振替東京二八六〇一番　賣捌全國各地書店

●株式會社山岡發動機工作所總會（決）取締役丸小新一ハ昭和七年五月廿五日死亡

●株式會社水俗釜行（株）取締役ヨリ昭和七年五月參拾日辭任ス　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

●三谷株式會社（株）取締役及會社ヲ代表スヘキ取締役ノ昭和七年五月參拾日各辭任ス　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

●有限責任信用購買販賣利用組合（組）理事上九、監事部大至ハ何レモ昭和七年五月拾八日辭任　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

●財團法人盛岡共濟會（總）理事山中義信ハ昭和七年六月拾參日辭任同日從北市鍛冶町五丁目貳番地宇治四郎、同市本町參丁目參番地安達房治郎、同所同番地品山敬行ハ各理事ニ就任　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

●株式會社山岡發動機工作所總會（決）取締役丸小新一ハ昭和七年五月廿五日死亡

●株式會社水俗釜行（株）取締役ヨリ昭和七年五月參拾日辭任　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

●三谷株式會社（株）取締役及會社ヲ代表スヘキ取締役ノ昭和七年五月參拾日各辭任ス　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

●有限責任信用購買販賣利用組合（組）理事上九、監事部大至ハ何レモ昭和七年五月拾八日辭任　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

●財團法人盛岡共濟會（總）理事山中義信ハ昭和七年六月拾參日辭任同日從北市鍛冶町五丁目貳番地宇治四郎、同市本町參丁目參番地安達房治郎、同所同番地品山敬行ハ各理事ニ就任　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

●株式會社山岡發動機工作所總會（決）取締役丸小新一ハ昭和七年五月廿五日死亡

●株式會社水俗釜行（株）取締役ヨリ昭和七年五月參拾日辭任　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

●三谷株式會社（株）取締役及會社ヲ代表スヘキ取締役ノ昭和七年五月參拾日各辭任ス　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

●有限責任信用購買販賣利用組合（組）理事上九、監事部大至ハ何レモ昭和七年五月拾八日辭任　右昭和七年六月拾四日登記　盛北地方法院

大阪商船

門司神戸行　六月十日朝十時發　六月廿一日朝十時發

三井汽船

門司神戸行　六月十日朝十時發　六月廿一日朝十時發

三井汽船

門司神戸行　六月十日朝十時發　六月廿一日朝十時發

三近海郵船

門司神戸行　六月十日朝十時發　六月廿一日朝十時發

大阪商船

門司神戸行　六月十日朝十時發　六月廿一日朝十時發

三井汽船

門司神戸行　六月十日朝十時發　六月廿一日朝十時發

三近海郵船

門司神戸行　六月十日朝十時發　六月廿一日朝十時發

父故○○○○儀病氣療養中ノ處遂ニ四日午後四時死去致シ候ニ付テハ御通知申上候　追テ來ル七月十日午後一時ヨリ自宅ニテ葬儀執行致シ候間此段御通知申上候　昭和七年六月五日　喪主　○○○○　親族一同

日支紛解決の結論を討議
勝間調査團が

五首相會議
きのう首相官邸で

國會の動き
明示か、開かぬ事に決定

國會は
解決を

調査委員の
認識不足を訂正

本島の製鹽事業
根本的に立直しか

鹽業試驗場を設置
差當り來年度臺南州下に

郵貯引下
今月末に

北投療養所
地處分打合せ

試驗場
探し

反駁的な回答
獨立禁止の兵器

各國も全廢せよ
獨代表から提案

功績を賞揚
大統領の

酒の大論戰
共和黨大會第一日

未決定
イーストン

米案提示
ヒットニー派

中川總督
門司を出發

復興派跋扈
若槻總裁狼狽の色

履帶修の行動
國際共產黨の指令ではない

外科 皮膚科 性病科 内科
千本醫院
小兒科 眼科
関屋醫院
耳鼻咽喉科 齒科
天邦醫院
齒科 耳鼻咽喉科
八林醫院
耳鼻咽喉科 皮膚科 泌尿器科
蔦田醫院
耳鼻咽喉科 皮膚科 泌尿器科
長尾醫院
眼科 内科
高田醫院
婦人科 外科 皮膚科
鈴木醫院
外科 皮膚科
大橋醫院
内科 小兒科
殿村醫院
皮膚科 外科
一番澤醫院

慘たり高雄の豪雨被害

稻は倒れた儘發芽し 籾乾燥は取引に間に合はず 自殺や泥田にうち伏し 號泣する哀れな農民群

【高雄電話】高雄地方には本月初旬以来連日に亘る降雨で殊に一部茶の乾燥期に當つてゐるため農家に所在の農民中には此の雨で籾の乾燥が出来ず契約濟の籾八千斤の受渡しが出来ぬためせっぱ詰つて縊死をとげたものがあるとさへ傳はれ、又當選市内郡方面の農民は倒伏した稻が發芽してゐるのを見て絶望の餘り田の泥土中に面を伏せて泣叫ぶものもある惡質高州としては大正十二年以来の惨害で此被害農この無慘の田のため深刻な農村恐慌が捍上つてゐる

不景氣は漁村へ

新竹州下の漁業危機を 救ふ力なき州水産會

適切な對策要望さる

新竹州下の漁業は最近益々不振に陷り新竹郡北埔、竹山、竹東、關西、新埔、湖口、新竹、竹南、後龍、苑裏、大湖、公館、頭份、三灣、苗栗、通霄、銅鑼灣、大安、外埔、大甲、清水、沙鹿、梧棲、大肚、龍井、大屯、彰化、鹿港、和美線沿線の漁民は不漁に加へて魚價の暴落に苦しんでゐるが、州水産會にては右に鑑み漁業者を救ふ爲め去る十日州廳會議室に關係者を召集して對策を協議したが其の席上に於ける漁業者の意見は何れも魚が獲れないから魚價が騰貴するといふ譯ではなく魚が獲れても魚價が暴落するといふ有樣で漁業者は獲れば獲る程損をするといふ實狀であるから州當局に於ても此の點を考慮して適切なる對策を講ずる必要があるとの意見であつたが州水産會にては何等の對策も講ずる意向がないやうである

臺南州の 勤續警官表彰

臺南州に於ける十七日の始政記念日に於て勤續二年以上の警官中左記各氏に對し表彰せらるゝものとして表彰される筈に決定を見たるもの左の如し

▲二十五年勤續功勞者　警察協會臺南州支部より賞狀及賞品

▲十五年勤續者　臺南州知事より賞狀及賞品

樹老の說傳

南投街林子の 樹齡八百年の大樟木

部落民の反對で伐採中止

【臺中電話】臺中州能高郡南投街林子に在る樹高二十餘尺、幹圍三十餘尺、樹齡八百餘年に達せる大樟木あり枝は四方に張り樹蔭は恰も大傘の如きを以て四方に聳つたやうな形を爲し根部には自然の大なる空洞あり古老の言によれば樹齡百年前から部落民が土地公を祭り同地方一帶部落民の崇敬の的となつて居る大樟木であるが、最近に至り腐蝕し著しく衰へ來つて來たので、州水産會にては右に關し協議を遂げて、他の樟木を伐採し樹脳製造に供した後を知つた部落民等は大いに驚き、彼の大樟木は南投地方唯一のものであり、口碑に傳へれば我が部落は我等一族は勿論、隣接部落の人々も亦之を神木として崇拜し居り、しかも彼の大樟木は部落を護る地形の要部に生えて居り、部落民は部落の所に生えて居る者であると云ふ點へられて居るから、若彼の大樟木にして伐採されて樟脳用に供せられんか、部落を護る我が部落の氣が無くなり、從つて部落民の依つて居る部落に祟りをなすと信じて部落民全部が甚だ遺憾に堪へないとて伐採を取り止められ居るにつき、何等彼の大樟木の伐採を取り止められ居るにつき、何等彼の大樟木の伐

南投街林子の 樹齡八百年の大樟木

部落民の反對で伐採中止

【臺中電話】臺中州能高郡南投街林子に在る樹高二十餘尺、幹圍三十餘尺、樹齡八百餘年に達せる大樟木あり枝は四方に張り樹蔭は恰も大傘の如きを以て四方に聳つたやうな形を爲し根部には自然の大なる空洞あり古老の言によれば樹齡百年前から部落民が土地公を祭り同地方一帶部落民の崇敬の的となつて居る大樟木であるが、最近に至り腐蝕し著しく衰へ來つて來たので、州水産會にては右に關し協議を遂げて、他の樟木を伐採し樹脳製造に供した後を知つた部落民等は大いに驚き、彼の大樟木は南投地方唯一のものであり、口碑に傳へれば我が部落は我等一族は勿論、隣接部落の人々も亦之を神木として崇拜し居り、しかも彼の大樟木は部落を護る地形の要部に生えて居り、部落民は部落の所に生えて居る者であると云ふ點へられて居るから、若彼の大樟木にして伐採されて樟脳用に供せられんか、部落を護る我が部落の氣が無くなり、從つて部落民の依つて居る部落に祟りをなすと信じて部落民全部が甚だ遺憾に堪へないとて伐採を取り止められ居るにつき、何等彼の大樟木の伐採を取り止められ度い旨竹下産中一郎、同吉原清、同林子に對し交渉中であつたが、今回州當局に於ても彼の大樟木は部落民の信仰上缺くべからざるものと認め伐採を中止することに決定したので、部落民は非常に喜んでゐる

また降り續く 臺南地方の雨

早稻や蕃薯の 被害多き模樣

臺南市附近は去る月三日より降り出した雨は臺南地方としてはまだ雨量二十餘粍、高さ三十餘尺、樹齡八百餘年に達せる大樟木あり枝は四方に張り樹蔭は恰も大傘の如きを以て四方に聳つたやうな形を爲し根部には自然の大なる空洞あり古老の言によれば樹齡百年前から部落民が土地公を祭り同地方一帶部落民の崇敬の的となつて居る大樟木であるが、最近に至り腐蝕し著しく衰へ來つて來たので、州水産會にては右に關し協議を遂げて、他の樟木を伐採し樹脳製造に供した後を知つた部落民等は大いに驚き、彼の大樟木は南投地方唯一のものであり、口碑に傳へれば我が部落は我等一族は勿論、隣接部落の人々も亦之を神木として崇拜し居り、しかも彼の大樟木は部落を護る地形の要部に生えて居り、部落民は部落の所に生えて居る者であると云ふ點へられて居るから、若彼の大樟木にして伐採されて樟脳用に供せられんか、部落を護る我が部落の氣が無くなり、從つて部落民の依つて居る部落に祟りをなすと信じて部落民全部が甚だ遺憾に堪へないとて伐採を取り止められ居るにつき、何等彼の大樟木の伐採を取り止められ度い旨竹下産中一郎、同吉原清、同林子に對し交渉中であつたが、今回州當局に於ても彼の大樟木は部落民の信仰上缺くべからざるものと認め伐採を中止することに決定したので、部落民は非常に喜んでゐる

臺南州の 勤續警官表彰

臺南州に於ける十七日の始政記念日に於て勤續二年以上の警官中左記各氏に對し表彰せらるゝものとして表彰される筈に決定を見たるもの左の如し

▲二十五年勤續功勞者　警察協會臺南州支部より賞狀及賞品

▲十五年勤續者　臺南州知事より賞狀及賞品

臺南州の 勤續警官表彰

臺南州に於ける十七日の始政記念日に於て勤續二年以上の警官中左記各氏に對し表彰せらるゝものとして表彰される筈に決定を見たるもの左の如し

▲二十五年勤續功勞者　警察協會臺南州支部より賞狀及賞品

▲十五年勤續者　臺南州知事より賞狀及賞品

役場に泊めて頂戴！ 猛烈なウインク

夜更けの松山庄役場に

ホテルをたづねるマドモアゼル

査氏に淫賣扱をされて憤激

【臺中電話】臺中州能高郡埔里社庄に於ける十七日の始政記念日に於て勤續二年以上の警官中左記各氏に對し表彰せらるゝものとして表彰される筈に決定を見たるもの左の如し

▲二十五年勤續功勞者　警察協會臺南州支部より賞狀及賞品

▲十五年勤續者　臺南州知事より賞狀及賞品

役場に泊めて頂戴！ 猛烈なウインク

夜更けの松山庄役場に

ホテルをたづねるマドモアゼル

査氏に淫賣扱をされて憤激

臺南密輸團の 首魁逮捕さる

逃走支那人も近く檢擧

【臺南電話】臺南州能高郡埔里社に於ける密輸團の首魁逮捕さる

臺南密輸團の 首魁逮捕さる

逃走支那人も近く檢擧

【臺南電話】臺南州能高郡埔里社に於ける密輸團の首魁逮捕さる

安保大將坐乘の 衣笠けふ高雄へ

大將は壽山館止宿

知事以下の伺候をうく

安保大將坐乘の 衣笠けふ高雄へ

大將は壽山館止宿

知事以下の伺候をうく

基隆市 衛生打合會

基隆市 衛生打合會

旱魃恐慌が 雨害恐慌へ

澎湖地方の農家

旱魃恐慌が 雨害恐慌へ

澎湖地方の農家

姦通現場を押へ 本夫、姦夫を刺す

被害者は瀕死の重傷

姦通現場を押へ 本夫、姦夫を刺す

被害者は瀕死の重傷

寬大な處分に 增長する不良二人

又もや掻っ拂ひを働き

臺南署で嚴重處罰

寬大な處分に 增長する不良二人

又もや掻っ拂ひを働き

臺南署で嚴重處罰

奇怪なり！ 敏腕刑事の轉任

某重大事件摘發が禍因か

奇怪なり！ 敏腕刑事の轉任

某重大事件摘發が禍因か

臺中講書クラブ 講演會

臺中講書クラブ 講演會

傳染病院敷地問題 既定方針遂行

東洋製繩も諒解し

傳染病院敷地問題 既定方針遂行

東洋製繩も諒解し

嘉義局で 電話無償提供

受付を開始

嘉義局で 電話無償提供

受付を開始

老濃溪の 鐵線橋橋脚倒壞

老濃溪の 鐵線橋橋脚倒壞

蕃社二百五十三戶を 大南澳平野に移住

蕃情變化に最も注目

臺北州蘇澳郡で極秘裡に計畫

蕃社二百五十三戶を 大南澳平野に移住

蕃情變化に最も注目

臺北州蘇澳郡で極秘裡に計畫

阿里山隧道 復舊開通

阿里山隧道 復舊開通

臺南市協議會 補缺選任

臺南市協議會 補缺選任

改正建築につき 今井醫長談

改正建築につき 今井醫長談

臺中刑務所に 又復チフス發生

七百人の大世帶の事ゝて

當局も狼狽し消毒を行ふ

臺中刑務所に 又復チフス發生

七百人の大世帶の事ゝて

當局も狼狽し消毒を行ふ

發動機講習 新竹農港にて

發動機講習 新竹農港にて

外科專門 內科兒科專門

外科專門 內科兒科專門

臺南名醫紹介

臺南名醫紹介

辯護士介紹

辯護士介紹

肺結核新藥 ファゴール
東京帝國大學醫學部 醫學博士 高橋隆太郎先生 醫學博士 下山順一郎先生 協力發表
肺結核、肺炎、肺尖加答兒、肋膜炎患者の榮養と安靜とに最も適當せる藥劑にして從來の肺結核藥劑に比し著しく其の效果を擧げ結核菌の出現を減少させ、食慾榮養を亢進せしめ、體重を增加し病勢を輕快ならしむ。
▼粉末製劑の二種あり
▼各地藥店にて購買す。
▼實驗成績書進呈す
東京市日本橋區本町一丁目廿番地
友田合資會社（三共株式會社製造）

産前産後にとりこの 經口 サンカン
月やく止り人知れず御心配の御婦人方よ！
本劑は第一流婦人科專門醫師の指導の下に婦人の爲に作つた新藥にて從來の婦人藥の如く苦味なく服用容易にして且つ效果著しく婦人病の全部に對し特に產前產後の諸症に卓效あり
本劑は京都山の内十二番地 眞生園 代金引換にて手數料三十錢を添へて御申込下さい
本劑は五個入を一ケ月分とし一週間に服用致します
本劑は京都山の内十二番地 眞生園 代金引換にて手數料三十錢を添へて御申込下さい

臺灣特許 淋病新藥 オトリン
內服ネ
大阪市東區今橋二丁目 小林藥學實驗所
電話東六七二五番 振替大阪一〇七七〇番
文獻見本進呈 郵券五十錢 各藥店販賣

公認 東京寫眞學校
全國で一校 東京品川驛前

新任嘉義市協議會員加藤德十郎氏

ラヂオ・プログラム

今日の番組

J.F.A.K.
六月十六日(木)

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ（臺北のみ）臺北測候所發表
【八・〇〇】臺灣氣象通報（臺北）
【九・三〇】家庭百科問答（ニンニクに就いて）子供のたべもの好き嫌ひをどうして直すか
【一〇・〇〇】今日の家庭料理（仏蘭西風ハムエッグスマお野菜の紹介）
【一一・〇〇】日用品小祝祭發表、名古屋門司間航路發表、紐育市場物價發表
【一二・五九】正午の時報、氣象通報（臺北のみ）臺北測候所發表

午後の部

【一・〇〇】散髪局編輯ニュース
【一・〇一】雲山娯樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）臺北、後の月酒宴樂（台兵團）福岡第百銀行松岡支店、上調子臺灣俱樂部文字兵衛、上調子臺灣俱樂部松沼
【二・〇〇】雲山娯樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）器樂、ショスリンの子守唄（ゴダール作曲）二重奏の歌（リムスキーコルサコフ作曲）ヘルランデー兄弟三、ラスト・ローズ・オブ・サムマー（英國民謠）四、アニー・ローリー（英國民謠）コックカリー・レヘルブンゴ、獨劇「リゴレット」四重唱（ベルデイ作曲）六、歌劇「ニヨン」より（トーマ作曲）ニヨン（千風琴）七、アロハ・オエ八、コハシクマレンジョージンフワ（ギター）
【三・〇〇】氣象通報（公開のみ）
【三・〇一】臺灣醫師會發表
【三・五〇】運動界（野球）臺北の巻）臺北市内少年野球大會官民對臺北商業野球團より中繼
【四・三〇】雲山娯樂時間（第三日）南門會、横山對抗講座「山の話」鹿島の探取と植物の採取（その二）鹿山修吉
【六・三〇】子供の時間（子供對抗）臺北の巻）臺北市内少年野球大會官民對臺北商業野球團より中繼
【七・〇〇】初等英語講座（第十四講）三好清記
【七・三〇】尺八合奏（名古屋）「曲目未定」

夜間の部

【七・四〇】臺灣音樂（臺北のみ）法場發子、上調子、淡場、胡琴、月琴、三絃、曲目「雪山關」
【七・四〇】ラヂオ・ファン臺（のみ）へ社會問題と心配役　增山新太郎　村崎淑一郎　石垣倉治　田中一雄　大内三男　本屋川口周平　佐光寺住職良念　小川政盛　臺北市内の女房おしま　新太郎女房お民　喜佐衛門　吉兵衛　お里　おしま　お民
【八・三〇】臺語（ライオン娯樂本舗提供）きもつぶし　演出指導　淡洲樓燕枝
【九・〇〇】連續講談（ライオン娯樂本舗提供）實錄白子屋政談（第二席）午後八時三十分（臺北）
【九・二〇】人間座公演臺灣放送劇團北海一座公演ニュース及び放送局關係ニュース（臺北のみ）△公演重要關係ニュース（臺北のみ）△公演重要關係ニュース△明日のプログラム發表

談洲樓燕枝の「連續講談」

（ライオン娯樂本舗提供）
午後九時より放送開始

【實錄白子屋政談】（第二席）

午後八時三十分（臺北）
談洲樓燕枝

▲（前回梗概）後の月酒宴急逝（向兵衛）　番頭徳兵衛　番頭徳松尾大夫

書生の佐吉は、主人の金子五百両を盗み出したのも此の八五郎だが、自分の命にかえても無實の罪を晴らしてやると八五郎の働きと、彦七の警察が調査となつて、彦七も捕つた。然し此の彦七は稚の定まらぬうちに御牢内で病死する、庄之助も不幸の罪、あゝ人生で若死してしまふ。

▼法場發子
▼幇間男子

此の二つの臺灣音樂のうち、最初は淡場さんの胡琴で次のが淡場さんと胡琴さん歌場さんの三人で、淡場は發方典三、山根四郎の主演である。

臺灣音樂

【午後七時四十分より】（臺北のみ）

書間娯樂時間（臺北）

【午後零時二十分より】

三味線　臺灣俱樂部文字兵衛
上調子　臺灣俱樂部梅治

此の曲は文政十一年四代目中村芝翫と五代目瀬川菊之丞が舞踊の時世粧にされた演劇で「忍出し三番叟」の三番を引抜いて舞踊、曲を引抜いて獨立、曲を引抜いて別ふみといふ風に現らせたもので作詞は瀬川如皐、作曲は五代目岸澤式佐、曲の中に獅子などが取入れられて居り、そこが興味となつてゐる

―臺南のみ―

▲謡曲
一、ヨロシクの子守唄
二、田使の歌
ヘルナンデーラ兄弟の謡曲で、笛はギター、バンドラ、ミューシカル・ソーの三つで彈らしい樂

語　きもつぶし

（ライオン娯樂本舗小林商店提供）
午後八時三十分（臺北）
談洲樓燕枝

說洲樓燕枝師匠の二日目は談一人者と云われる彼の圓熟した話振りである、開花なる彼の圓熟した話振りである、開花なる彼の圓熟した話振りである、開花な

改正關稅法案公布

十六日より即日實施に決定

(東京十五日發電通) 政府は臨時議會を通過せる二法律案即ち
一、關稅定率法中改正法律案
一、輸入稅の從量稅率に關する法律案
を十五日上奏御裁可を經て十六日の官報をもつて公布即日實施に決定した

今の世は「商賣にも藝術」商業美術の話 (上)

……二つの結合による力……

商業と美術

商業美術とは美術の實際化と商業の藝術化といふ點から生れた美術であります

美術と商業

……といふ事は其の儘の意味に考へられてゐたのでありますが、商店では美術の力を借りなければ商賣して行けない時代が參りました、又美術家も美術が世の間の借りぢかだと考へて居られない時代が參つたのであります、それといふのは世の中が文明になつて參りまして幾多の機械が發明せられ、工業生產が盛んになつた結果、商品はどんどん大量生產せられるやうになりました、そして大量生產は販賣にも此の商品は安いとか、丈夫だとか、便利だとかいふ說明を與へ或は見てゐるだけの心理學的な事へ方をして居りました、殘し世の中が忙しくなり、人の足も早く急いでゐる時間になりますから、ゆつくり此れは安いとか、丈夫だとか、便利だとかいふ說明を聞き或は見てゐる間人はなくなつて來ました

商店が商賣

……するには從來の樣に客の來るのを待てばよかつたのでありますが、客が來ない場合にはこちらから客を招きつけなければなりません、そこで客を招くために廣告したりチラシを撒いたり、陳列窓を飾つたりします、勿論は廣告をするにしても此の商品は安いとか、丈夫なことをいつて客の心持を惹くだけの心理學的な事へ方をして居りました、殘し世の中が忙しくなり、人の足も早く急いでゐる時間になりますから、ゆつくり此れは安いとか、丈夫だとか、便利だとかいふ說明を聞き或は見てゐる間人はなくなつて來ました

其處で急き……行く人を呼びとめ、或は一見して客の好みそうなやうな形式だり、色彩だりに訴えなければなりません、人々を積極的に物慾しくなるやうな感情を起させるのには美術の力といふものが必要なくてはならざるものであります、今迄人々が美術に考へられてゐた點の違ひ商業と美術は、全に始めて密接な關係となつたのであります

街の風景、陳列窓

陳列窓が社會に、或は人間生活にどんな影響を與へてゐるかと云ふことをちよつと考へてみるのも興味のあることであります、陳列窓は決して見遁す事の出來ない、又見逃すことの出來ない一種の魅力を持つてゐるものであります、陳列窓には新聞や小冊の樣に文字や言葉で說明することは出來ませんが、其の代りに形、色彩、光、商品、配列、照明、或は夫々の美は都會人の心に共鳴せずにはゐられないといふ點から作り出す陳列窓も、かうした點を考へると社會的に人間的に價値があることになります、この價値をもつと押し進めて行きますと、其の結果として其處に自身も繁榮して來ることになるのであります

都會生活者

……には自然と缺乏つたり、早かに物を欲しがつたりする事と云ふ事を缺つたり、早かに物を欲しがつたりする事と云ふ事を缺つたり、早かに物を欲しがつたりする事と云ふ事を缺

ロンドンで好評を博した「臺灣茶」その「飲み方」のデザイン

臺灣茶の宣傳、販賣機關に當つては種種苦心研鑽あたりであるが、今回ロンドンに設置した小賣店などを發行して內外に發れが普及を計つてゐるかゞ、たまたま昨年末特產部から發行した小賣店「臺灣茶」とその「飲み方」のデザインが、臺灣茶の最上の顧客である英國で好評を受け、ロンドンで發行されてゐる商業美術雜誌「コンマーシャル・アート・アンド・インダストリイ」四月號には小賣店「臺灣茶と其の飲み方」の記事が掲げ「今回總督府大野四郎氏のデザインになる日本の小賣店」の記が加へてある、此の新店は單に臺灣茶の海外進出の狀勢を語り、又一方臺灣の茶業者が今後進むべきつの路をさし示すものではあるまいか

伊太利ファシスト文學「の新しき動き」

—ボンテムペエリの轉回—

二浦逸雄

ファシヨの風潮は、目下世界的の流行である。我が國に於ても、從來この點がやかましい。文藝あたりまでファシヨが、問題にされて盛んに紹介され論議されてゐるやうであるがファシスト文學と名付くべき作品は見當らないやうである。ファシヨの根本國イタリーに於ては、國策だけにファシスト文學が盛んであるが、これはソヴエート文學が發展すると同じく何等の不思議もないことであるが、ファシヨの流行する現下の狀勢にあつてイタリーのファシスト文學に注目することは、あながち無意味なことではなく、思想的にこれを觀察することさへ意義あるのではなからうか

○……○

さて扨、マッシモ・ボンテムペエリの近作「アルヒヨンの盜」がイタリーのファシスト文學界の間に問題を投じてゐることであるが、この理由としてボンテムペエリの思想の方面が著しくソヴエート的だといふのである。しかしクルチオ・マッパルテのごとき一派の主動的作家は、夫が「罪にファーシヨ・レアリズム」の技法の點にすぎないので、別にファシズムの傳統的秩序をみだすほどのものではない」と非難してゐる。ボンテムペエリの其作品はアバン・プロレタリアートの生活を主題にしてゐる點とペネヂティ女史の「カラの旗」に見るごときシハルタネイズムのテクニクを具へてゐる點などで、他の國民的主題と自然主義的技法に甘んずる現在のファシスト文學の中にあつて少からず特色をもつてゐるが、主として問題になつたのは、そのプロレタリア・イヂオロギイである

○……○

しかし、それも無論著眼を現實とするマルキストのそれでなく、あくまでも社會的國民的の統一と共通に分裂してゆかうとする一點の社會進展主義を主張したにとどまるのであるが、この共利社會を目標としてマラパルテなどの主張したファシヨ・レアリズム運動が二、三年前には數民的に發展せられたに比して、ファシスト政府の中堅的指導者たるジエンティレやボタダイなどの哲學を背景とするところに現在のファシスト文學の今後の行き方が文學的にも注目されないこともない

ボンテムペエリの轉向上の中心思想にさほり他の主動的なイタリーの文學家と同じくクラン・イクリア文化の共鳴する「混地中海主義」である。かくの如くボンテムペエリの轉回は現代伊太利文學

最も尖端的な氷の美顏術

—皮膚の抵抗力を增し—

—肌の荒れを豫防する—

メイ・ウシヤマ

氷の美顏術

といふのはアメリカで初められたものですが、一部の人だけに知られて居ります。實は驚くべき簡單な美顏術であります。この氷の美顏術は肌の皮膚の緊張をよくするばかりでなく、皮膚を潤に潤せ、皺の根を除去し、小皺の出來ないやうにする方法で、參考までにお話しませう。

氷の美顏術は氷に觸して施術しますが、これは極く簡單なことで、氷を布に包んで顏を輕く撫でるだけのことです。氷は一度に大きいのを用ひるよりも、小さいのを數多く用ひる方が效果があります。氷は一度に大きいのを用ひるよりも、小さいのを數多く用ひる方が效果があります。氷は一度に大きいのを用ひるよりも、小さいのを數多く用ひる方が效果があります。

指先にこり

を感じて居る人は、氷を用ひる前に、指先を輕く揉んでおくと、氷の效果が一層よくあらはれます。

その方法は

コールドクリームの代用にストロベリークリームでもよいのですが、良い香水の入つた油性のものがよいと思ひます。クリームを顏全體に薄く塗りましたら、ガーゼかタオルを數枚重ねて顏にのせ、その上から氷を輕く撫でるやうにして皮膚の隅々まで行きわたらせます。

氷の順序

は、先づ額から始めて兩頰、鼻、口の周圍、顎の順に、一つ一つ丁寧に、一分間位づゝ撫でるやうにして行きます。

時間

は、全體で十分間位が適當です。

氷の美顏術

の效果は、皮膚の表面の汚れを除き、皮膚の抵抗力を增し、皮膚の荒れを豫防するのですから、皮膚の美しい人も、荒れ勝ちの人も、一度試みて見る價値があります。

近代女性美の標準は顏よりも姿體美に……

—婦人の日常の動作を美くしく見せる祕訣—

高田せい子

男性の美しさ

は、あくまで男らしいところに魅力があると同樣に女性の美はたとへ洋裝の場合でありましても、どこまでも女らしい點をそなはなければならないと思ひます。殊に洋裝をした時は動作が自然に現はれるのでありますから、常に動作の美しさを保つやうな心がけが必要であります。

女性の美しさ

は、あくまで男らしいところに魅力があると同樣に女性の美はたとへ洋裝の場合でありましても、どこまでも女らしい點をそなはなければならないと思ひます。殊に洋裝をした時は動作が自然に現はれるのでありますから、常に動作の美しさを保つやうな心がけが必要であります。

動作

の美しさを保つやうな心がけがなくては、いくら顏だけの美を讃嘆にした時代はすでに過去となつて、今は肢體全體のいはゆる美人の第一條件となつてゐるのであります。

顏

ばかりの美しさといふものは、いくら整つてゐましても、それは現代にふさはしくないものであります。

動作

を美しくするには、先づ姿勢を正しくすることが必要であります。

姿勢

を正しくするには、先づ頭を正しくすることが必要であります。

頭

を正しくするには、先づ頸を正しくすることが必要であります。

頸

を正しくするには、先づ肩を正しくすることが必要であります。

肩

を正しくするには、先づ胸を正しくすることが必要であります。

胸

を正しくするには、先づ腰を正しくすることが必要であります。

腰

を正しくするには、先づ膝を正しくすることが必要であります。

膝

を正しくするには、先づ足を正しくすることが必要であります。

足

を正しくするには、先づ指を正しくすることが必要であります。

指

を正しくするには、先づ爪を正しくすることが必要であります。

爪

を正しくするには、先づ皮膚を正しくすることが必要であります。

皮膚

を正しくするには、先づ筋肉を正しくすることが必要であります。

筋肉

を正しくするには、先づ骨を正しくすることが必要であります。

骨

を正しくするには、先づ關節を正しくすることが必要であります。

關節

を正しくするには、先づ靭帶を正しくすることが必要であります。

靭帶

を正しくするには、先づ神經を正しくすることが必要であります。

神經

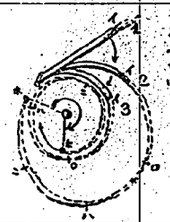
を正しくするには、先づ精神を正しくすることが必要であります。

精神

を正しくするには、先づ心を正しくすることが必要であります。

心

を正しくするには、先づ……



時計の話（下）

豪北工業學校教諭 多々良省三

ぜんまいを

捲つたまゝ正確な時計で、此ぜんまいは、親時間の保證に出來る丈の強力を有つてゐます。ぜんまいの卷き方は、ぜんまいの卷き方は、ぜんまいの卷き方は、

野球に強いのは氣溫廿七度の地方チーム

臺北醫院の天野一男氏が發表　選手の血液型も目下研究中

スポーツの隆盛と共にスポーツ醫學の問題となり、内地の醫學界に於ては既にスポーツ醫學專門に研究を重ねてゐる醫學者もあり東大、京大、慶應などの醫學部では種々の學科的な發表をなしてゐるが臺醫としても北極探檢の如き第一回臺北醫院第一内科醫長天野一男氏は長谷川、緑、關原醫博士、菅野醫博士等の指導でスポーツ醫學の研究をなすことなつた、天野醫博は「氣溫の生體に及ぼす影響」野球選手に就て」と題する研究を發表したがそれによると卵と醋白い關係が生れて來る、卵を多く含有する食物は野球選手の如き全身運動を續ける人には最も適當であつて、各チームの成績、氣溫とに付て

推論し

た結果を綜合して次の如き結論に達してゐる

一、氣溫（攝氏）二十度の地方チームが最も多く勝してゐる

二、成績は二七度を中心とし寒い地方程低下し、暑過ぎる地方のものも亦劣くなる

三、午前中の試合は寒い地方のチームより前半の成績が良い

四、午後になると寒い地方のチームが後半成績が劣くなる

五、安打、得點、失策と氣溫との關には密接な關係がある

六、以上の指數は氣溫の上昇に及ぼす影響の一部と看做し得る

得點の差を標準として氣溫の差示方法としてゐるが、それに依ると八月の平均氣溫二七度位の地方のチームは醫勝チームに對して七、三度の差を以て敗れてゐる

差一、六、八度で敗れた氣溫二八度の暑過ぎる方が成績が良いといふわけだがこれは攻撃方面の得點の方から見たのだが、その守備面から見ても暑過ぎる地方のものも亦悪くなる

【東京十五日發本社特電】東京市は醫學者を始め市内へも相當に侵入してゐると專ふがコレラの流行は普通八月頃たが今年はずゐぶん早い方である

コレラ流行地に上海を指定す

總督府、十七日から

上海に於けるコレラは非常な勢で猖獗し、患者數は既に四百名を超えてゐる、從來の例に見ても五、六月頃から流行し出した時は傳染力が猛烈て九、十月頃から流行し出した時ほどでかない、内地では本月二日上海から長崎を經由して東京に患者が入り込み大騒ぎを演じてゐるが、總督府でも十七日から上海をコレラ流行指定地とすることに決定した

東京に又も眞症コレラ

警視廳必至の防疫

【東京十五日發本社特電】東京市一、外神田四新潟九、内藤部基準の

海陸七將軍の晴れの帝都凱旋

二十四日國府津から打揃つて

【東京十五日發本社特電】上海事件に關し、陸、海兩軍に於ては、海軍側に於ては、既に上海に於ける陸戰隊の引揚げを終つた、陸軍側に於ては、上海派遣軍司令官植田中將、第九師團長、第十一師團長、第十四師團長、第一師團長、第十八師團長、第十二師團長、第十三師團長、第十五師團長、第十六師團長、第十七師團長、第十八師團長、第十九師團長、第二十師團長、第二十一師團長、第二十二師團長、第二十三師團長、第二十四師團長、第二十五師團長、第二十六師團長、第二十七師團長、第二十八師團長、第二十九師團長、第三十師團長、第三十一師團長、第三十二師團長、第三十三師團長、第三十四師團長、第三十五師團長、第三十六師團長、第三十七師團長、第三十八師團長、第三十九師團長、第四十師團長、第四十一師團長、第四十二師團長、第四十三師團長、第四十四師團長、第四十五師團長、第四十六師團長、第四十七師團長、第四十八師團長、第四十九師團長、第五十師團長、第五十一師團長、第五十二師團長、第五十三師團長、第五十四師團長、第五十五師團長、第五十六師團長、第五十七師團長、第五十八師團長、第五十九師團長、第六十師團長、第六十一師團長、第六十二師團長、第六十三師團長、第六十四師團長、第六十五師團長、第六十六師團長、第六十七師團長、第六十八師團長、第六十九師團長、第七十師團長、第七十一師團長、第七十二師團長、第七十三師團長、第七十四師團長、第七十五師團長、第七十六師團長、第七十七師團長、第七十八師團長、第七十九師團長、第八十師團長、第八十一師團長、第八十二師團長、第八十三師團長、第八十四師團長、第八十五師團長、第八十六師團長、第八十七師團長、第八十八師團長、第八十九師團長、第九十師團長、第九十一師團長、第九十二師團長、第九十三師團長、第九十四師團長、第九十五師團長、第九十六師團長、第九十七師團長、第九十八師團長、第九十九師團長、第一百師團長、第一百一師團長、第一百二師團長、第一百三師團長、第一百四師團長、第一百五師團長、第一百六師團長、第一百七師團長、第一百八師團長、第一百九師團長、第一百十師團長、第一百十一師團長、第一百十二師團長、第一百十三師團長、第一百十四師團長、第一百十五師團長、第一百十六師團長、第一百十七師團長、第一百十八師團長、第一百十九師團長、第一百二十師團長、第一百二十一師團長、第一百二十二師團長、第一百二十三師團長、第一百二十四師團長、第一百二十五師團長、第一百二十六師團長、第一百二十七師團長、第一百二十八師團長、第一百二十九師團長、第一百三十師團長、第一百三十一師團長、第一百三十二師團長、第一百三十三師團長、第一百三十四師團長、第一百三十五師團長、第一百三十六師團長、第一百三十七師團長、第一百三十八師團長、第一百三十九師團長、第一百四十師團長、第一百四十一師團長、第一百四十二師團長、第一百四十三師團長、第一百四十四師團長、第一百四十五師團長、第一百四十六師團長、第一百四十七師團長、第一百四十八師團長、第一百四十九師團長、第一百五十師團長、第一百五十一師團長、第一百五十二師團長、第一百五十三師團長、第一百五十四師團長、第一百五十五師團長、第一百五十六師團長、第一百五十七師團長、第一百五十八師團長、第一百五十九師團長、第一百六十師團長、第一百六十一師團長、第一百六十二師團長、第一百六十三師團長、第一百六十四師團長、第一百六十五師團長、第一百六十六師團長、第一百六十七師團長、第一百六十八師團長、第一百六十九師團長、第一百七十師團長、第一百七十一師團長、第一百七十二師團長、第一百七十三師團長、第一百七十四師團長、第一百七十五師團長、第一百七十六師團長、第一百七十七師團長、第一百七十八師團長、第一百七十九師團長、第一百八十師團長、第一百八十一師團長、第一百八十二師團長、第一百八十三師團長、第一百八十四師團長、第一百八十五師團長、第一百八十六師團長、第一百八十七師團長、第一百八十八師團長、第一百八十九師團長、第一百九十師團長、第一百九十一師團長、第一百九十二師團長、第一百九十三師團長、第一百九十四師團長、第一百九十五師團長、第一百九十六師團長、第一百九十七師團長、第一百九十八師團長、第一百九十九師團長、第二百師團長、第二百一師團長、第二百二師團長、第二百三師團長、第二百四師團長、第二百五師團長、第二百六師團長、第二百七師團長、第二百八師團長、第二百九師團長、第二百十師團長、第二百十一師團長、第二百十二師團長、第二百十三師團長、第二百十四師團長、第二百十五師團長、第二百十六師團長、第二百十七師團長、第二百十八師團長、第二百十九師團長、第二百二十師團長、第二百二十一師團長、第二百二十二師團長、第二百二十三師團長、第二百二十四師團長、第二百二十五師團長、第二百二十六師團長、第二百二十七師團長、第二百二十八師團長、第二百二十九師團長、第二百三十師團長、第二百三十一師團長、第二百三十二師團長、第二百三十三師團長、第二百三十四師團長、第二百三十五師團長、第二百三十六師團長、第二百三十七師團長、第二百三十八師團長、第二百三十九師團長、第二百四十師團長、第二百四十一師團長、第二百四十二師團長、第二百四十三師團長、第二百四十四師團長、第二百四十五師團長、第二百四十六師團長、第二百四十七師團長、第二百四十八師團長、第二百四十九師團長、第二百五十師團長、第二百五十一師團長、第二百五十二師團長、第二百五十三師團長、第二百五十四師團長、第二百五十五師團長、第二百五十六師團長、第二百五十七師團長、第二百五十八師團長、第二百五十九師團長、第二百六十師團長、第二百六十一師團長、第二百六十二師團長、第二百六十三師團長、第二百六十四師團長、第二百六十五師團長、第二百六十六師團長、第二百六十七師團長、第二百六十八師團長、第二百六十九師團長、第二百七十師團長、第二百七十一師團長、第二百七十二師團長、第二百七十三師團長、第二百七十四師團長、第二百七十五師團長、第二百七十六師團長、第二百七十七師團長、第二百七十八師團長、第二百七十九師團長、第二百八十師團長、第二百八十一師團長、第二百八十二師團長、第二百八十三師團長、第二百八十四師團長、第二百八十五師團長、第二百八十六師團長、第二百八十七師團長、第二百八十八師團長、第二百八十九師團長、第二百九十師團長、第二百九十一師團長、第二百九十二師團長、第二百九十三師團長、第二百九十四師團長、第二百九十五師團長、第二百九十六師團長、第二百九十七師團長、第二百九十八師團長、第二百九十九師團長、第三百師團長、第三百一師團長、第三百二師團長、第三百三師團長、第三百四師團長、第三百五師團長、第三百六師團長、第三百七師團長、第三百八師團長、第三百九師團長、第三百十師團長、第三百十一師團長、第三百十二師團長、第三百十三師團長、第三百十四師團長、第三百十五師團長、第三百十六師團長、第三百十七師團長、第三百十八師團長、第三百十九師團長、第三百二十師團長、第三百二十一師團長、第三百二十二師團長、第三百二十三師團長、第三百二十四師團長、第三百二十五師團長、第三百二十六師團長、第三百二十七師團長、第三百二十八師團長、第三百二十九師團長、第三百三十師團長、第三百三十一師團長、第三百三十二師團長、第三百三十三師團長、第三百三十四師團長、第三百三十五師團長、第三百三十六師團長、第三百三十七師團長、第三百三十八師團長、第三百三十九師團長、第三百四十師團長、第三百四十一師團長、第三百四十二師團長、第三百四十三師團長、第三百四十四師團長、第三百四十五師團長、第三百四十六師團長、第三百四十七師團長、第三百四十八師團長、第三百四十九師團長、第三百五十師團長、第三百五十一師團長、第三百五十二師團長、第三百五十三師團長、第三百五十四師團長、第三百五十五師團長、第三百五十六師團長、第三百五十七師團長、第三百五十八師團長、第三百五十九師團長、第三百六十師團長、第三百六十一師團長、第三百六十二師團長、第三百六十三師團長、第三百六十四師團長、第三百六十五師團長、第三百六十六師團長、第三百六十七師團長、第三百六十八師團長、第三百六十九師團長、第三百七十師團長、第三百七十一師團長、第三百七十二師團長、第三百七十三師團長、第三百七十四師團長、第三百七十五師團長、第三百七十六師團長、第三百七十七師團長、第三百七十八師團長、第三百七十九師團長、第三百八十師團長、第三百八十一師團長、第三百八十二師團長、第三百八十三師團長、第三百八十四師團長、第三百八十五師團長、第三百八十六師團長、第三百八十七師團長、第三百八十八師團長、第三百八十九師團長、第三百九十師團長、第三百九十一師團長、第三百九十二師團長、第三百九十三師團長、第三百九十四師團長、第三百九十五師團長、第三百九十六師團長、第三百九十七師團長、第三百九十八師團長、第三百九十九師團長、第四百師團長、第四百一師團長、第四百二師團長、第四百三師團長、第四百四師團長、第四百五師團長、第四百六師團長、第四百七師團長、第四百八師團長、第四百九師團長、第四百十師團長、第四百十一師團長、第四百十二師團長、第四百十三師團長、第四百十四師團長、第四百十五師團長、第四百十六師團長、第四百十七師團長、第四百十八師團長、第四百十九師團長、第四百二十師團長、第四百二十一師團長、第四百二十二師團長、第四百二十三師團長、第四百二十四師團長、第四百二十五師團長、第四百二十六師團長、第四百二十七師團長、第四百二十八師團長、第四百二十九師團長、第四百三十師團長、第四百三十一師團長、第四百三十二師團長、第四百三十三師團長、第四百三十四師團長、第四百三十五師團長、第四百三十六師團長、第四百三十七師團長、第四百三十八師團長、第四百三十九師團長、第四百四十師團長、第四百四十一師團長、第四百四十二師團長、第四百四十三師團長、第四百四十四師團長、第四百四十五師團長、第四百四十六師團長、第四百四十七師團長、第四百四十八師團長、第四百四十九師團長、第四百五十師團長、第四百五十一師團長、第四百五十二師團長、第四百五十三師團長、第四百五十四師團長、第四百五十五師團長、第四百五十六師團長、第四百五十七師團長、第四百五十八師團長、第四百五十九師團長、第四百六十師團長、第四百六十一師團長、第四百六十二師團長、第四百六十三師團長、第四百六十四師團長、第四百六十五師團長、第四百六十六師團長、第四百六十七師團長、第四百六十八師團長、第四百六十九師團長、第四百七十師團長、第四百七十一師團長、第四百七十二師團長、第四百七十三師團長、第四百七十四師團長、第四百七十五師團長、第四百七十六師團長、第四百七十七師團長、第四百七十八師團長、第四百七十九師團長、第四百八十師團長、第四百八十一師團長、第四百八十二師團長、第四百八十三師團長、第四百八十四師團長、第四百八十五師團長、第四百八十六師團長、第四百八十七師團長、第四百八十八師團長、第四百八十九師團長、第四百九十師團長、第四百九十一師團長、第四百九十二師團長、第四百九十三師團長、第四百九十四師團長、第四百九十五師團長、第四百九十六師團長、第四百九十七師團長、第四百九十八師團長、第四百九十九師團長、第五百師團長、第五百一師團長、第五百二師團長、第五百三師團長、第五百四師團長、第五百五師團長、第五百六師團長、第五百七師團長、第五百八師團長、第五百九師團長、第五百十師團長、第五百十一師團長、第五百十二師團長、第五百十三師團長、第五百十四師團長、第五百十五師團長、第五百十六師團長、第五百十七師團長、第五百十八師團長、第五百十九師團長、第五百二十師團長、第五百二十一師團長、第五百二十二師團長、第五百二十三師團長、第五百二十四師團長、第五百二十五師團長、第五百二十六師團長、第五百二十七師團長、第五百二十八師團長、第五百二十九師團長、第五百三十師團長、第五百三十一師團長、第五百三十二師團長、第五百三十三師團長、第五百三十四師團長、第五百三十五師團長、第五百三十六師團長、第五百三十七師團長、第五百三十八師團長、第五百三十九師團長、第五百四十師團長、第五百四十一師團長、第五百四十二師團長、第五百四十三師團長、第五百四十四師團長、第五百四十五師團長、第五百四十六師團長、第五百四十七師團長、第五百四十八師團長、第五百四十九師團長、第五百五十師團長、第五百五十一師團長、第五百五十二師團長、第五百五十三師團長、第五百五十四師團長、第五百五十五師團長、第五百五十六師團長、第五百五十七師團長、第五百五十八師團長、第五百五十九師團長、第五百六十師團長、第五百六十一師團長、第五百六十二師團長、第五百六十三師團長、第五百六十四師團長、第五百六十五師團長、第五百六十六師團長、第五百六十七師團長、第五百六十八師團長、第五百六十九師團長、第五百七十師團長、第五百七十一師團長、第五百七十二師團長、第五百七十三師團長、第五百七十四師團長、第五百七十五師團長、第五百七十六師團長、第五百七十七師團長、第五百七十八師團長、第五百七十九師團長、第五百八十師團長、第五百八十一師團長、第五百八十二師團長、第五百八十三師團長、第五百八十四師團長、第五百八十五師團長、第五百八十六師團長、第五百八十七師團長、第五百八十八師團長、第五百八十九師團長、第五百九十師團長、第五百九十一師團長、第五百九十二師團長、第五百九十三師團長、第五百九十四師團長、第五百九十五師團長、第五百九十六師團長、第五百九十七師團長、第五百九十八師團長、第五百九十九師團長、第六百師團長、第六百一師團長、第六百二師團長、第六百三師團長、第六百四師團長、第六百五師團長、第六百六師團長、第六百七師團長、第六百八師團長、第六百九師團長、第六百十師團長、第六百十一師團長、第六百十二師團長、第六百十三師團長、第六百十四師團長、第六百十五師團長、第六百十六師團長、第六百十七師團長、第六百十八師團長、第六百十九師團長、第六百二十師團長、第六百二十一師團長、第六百二十二師團長、第六百二十三師團長、第六百二十四師團長、第六百二十五師團長、第六百二十六師團長、第六百二十七師團長、第六百二十八師團長、第六百二十九師團長、第六百三十師團長、第六百三十一師團長、第六百三十二師團長、第六百三十三師團長、第六百三十四師團長、第六百三十五師團長、第六百三十六師團長、第六百三十七師團長、第六百三十八師團長、第六百三十九師團長、第六百四十師團長、第六百四十一師團長、第六百四十二師團長、第六百四十三師團長、第六百四十四師團長、第六百四十五師團長、第六百四十六師團長、第六百四十七師團長、第六百四十八師團長、第六百四十九師團長、第六百五十師團長、第六百五十一師團長、第六百五十二師團長、第六百五十三師團長、第六百五十四師團長、第六百五十五師團長、第六百五十六師團長、第六百五十七師團長、第六百五十八師團長、第六百五十九師團長、第六百六十師團長、第六百六十一師團長、第六百六十二師團長、第六百六十三師團長、第六百六十四師團長、第六百六十五師團長、第六百六十六師團長、第六百六十七師團長、第六百六十八師團長、第六百六十九師團長、第六百七十師團長、第六百七十一師團長、第六百七十二師團長、第六百七十三師團長、第六百七十四師團長、第六百七十五師團長、第六百七十六師團長、第六百七十七師團長、第六百七十八師團長、第六百七十九師團長、第六百八十師團長、第六百八十一師團長、第六百八十二師團長、第六百八十三師團長、第六百八十四師團長、第六百八十五師團長、第六百八十六師團長、第六百八十七師團長、第六百八十八師團長、第六百八十九師團長、第六百九十師團長、第六百九十一師團長、第六百九十二師團長、第六百九十三師團長、第六百九十四師團長、第六百九十五師團長、第六百九十六師團長、第六百九十七師團長、第六百九十八師團長、第六百九十九師團長、第七百師團長、第七百一師團長、第七百二師團長、第七百三師團長、第七百四師團長、第七百五師團長、第七百六師團長、第七百七師團長、第七百八師團長、第七百九師團長、第七百十師團長、第七百十一師團長、第七百十二師團長、第七百十三師團長、第七百十四師團長、第七百十五師團長、第七百十六師團長、第七百十七師團長、第七百十八師團長、第七百十九師團長、第七百二十師團長、第七百二十一師團長、第七百二十二師團長、第七百二十三師團長、第七百二十四師團長、第七百二十五師團長、第七百二十六師團長、第七百二十七師團長、第七百二十八師團長、第七百二十九師團長、第七百三十師團長、第七百三十一師團長、第七百三十二師團長、第七百三十三師團長、第七百三十四師團長、第七百三十五師團長、第七百三十六師團長、第七百三十七師團長、第七百三十八師團長、第七百三十九師團長、第七百四十師團長、第七百四十一師團長、第七百四十二師團長、第七百四十三師團長、第七百四十四師團長、第七百四十五師團長、第七百四十六師團長、第七百四十七師團長、第七百四十八師團長、第七百四十九師團長、第七百五十師團長、第七百五十一師團長、第七百五十二師團長、第七百五十三師團長、第七百五十四師團長、第七百五十五師團長、第七百五十六師團長、第七百五十七師團長、第七百五十八師團長、第七百五十九師團長、第七百六十師團長、第七百六十一師團長、第七百六十二師團長、第七百六十三師團長、第七百六十四師團長、第七百六十五師團長、第七百六十六師團長、第七百六十七師團長、第七百六十八師團長、第七百六十九師團長、第七百七十師團長、第七百七十一師團長、第七百七十二師團長、第七百七十三師團長、第七百七十四師團長、第七百七十五師團長、第七百七十六師團長、第七百七十七師團長、第七百七十八師團長、第七百七十九師團長、第七百八十師團長、第七百八十一師團長、第七百八十二師團長、第七百八十三師團長、第七百八十四師團長、第七百八十五師團長、第七百八十六師團長、第七百八十七師團長、第七百八十八師團長、第七百八十九師團長、第七百九十師團長、第七百九十一師團長、第七百九十二師團長、第七百九十三師團長、第七百九十四師團長、第七百九十五師團長、第七百九十六師團長、第七百九十七師團長、第七百九十八師團長、第七百九十九師團長、第八百師團長、第八百一師團長、第八百二師團長、第八百三師團長、第八百四師團長、第八百五師團長、第八百六師團長、第八百七師團長、第八百八師團長、第八百九師團長、第八百十師團長、第八百十一師團長、第八百十二師團長、第八百十三師團長、第八百十四師團長、第八百十五師團長、第八百十六師團長、第八百十七師團長、第八百十八師團長、第八百十九師團長、第八百二十師團長、第八百二十一師團長、第八百二十二師團長、第八百二十三師團長、第八百二十四師團長、第八百二十五師團長、第八百二十六師團長、第八百二十七師團長、第八百二十八師團長、第八百二十九師團長、第八百三十師團長、第八百三十一師團長、第八百三十二師團長、第八百三十三師團長、第八百三十四師團長、第八百三十五師團長、第八百三十六師團長、第八百三十七師團長、第八百三十八師團長、第八百三十九師團長、第八百四十師團長、第八百四十一師團長、第八百四十二師團長、第八百四十三師團長、第八百四十四師團長、第八百四十五師團長、第八百四十六師團長、第八百四十七師團長、第八百四十八師團長、第八百四十九師團長、第八百五十師團長、第八百五十一師團長、第八百五十二師團長、第八百五十三師團長、第八百五十四師團長、第八百五十五師團長、第八百五十六師團長、第八百五十七師團長、第八百五十八師團長、第八百五十九師團長、第八百六十師團長、第八百六十一師團長、第八百六十二師團長、第八百六十三師團長、第八百六十四師團長、第八百六十五師團長、第八百六十六師團長、第八百六十七師團長、第八百六十八師團長、第八百六十九師團長、第八百七十師團長、第八百七十一師團長、第八百七十二師團長、第八百七十三師團長、第八百七十四師團長、第八百七十五師團長、第八百七十六師團長、第八百七十七師團長、第八百七十八師團長、第八百七十九師團長、第八百八十師團長、第八百八十一師團長、第八百八十二師團長、第八百八十三師團長、第八百八十四師團長、第八百八十五師團長、第八百八十六師團長、第八百八十七師團長、第八百八十八師團長、第八百八十九師團長、第八百九十師團長、第八百九十一師團長、第八百九十二師團長、第八百九十三師團長、第八百九十四師團長、第八百九十五師團長、第八百九十六師團長、第八百九十七師團長、第八百九十八師團長、第八百九十九師團長、第九百師團長、第九百一師團長、第九百二師團長、第九百三師團長、第九百四師團長、第九百五師團長、第九百六師團長、第九百七師團長、第九百八師團長、第九百九師團長、第九百十師團長、第九百十一師團長、第九百十二師團長、第九百十三師團長、第九百十四師團長、第九百十五師團長、第九百十六師團長、第九百十七師團長、第九百十八師團長、第九百十九師團長、第九百二十師團長、第九百二十一師團長、第九百二十二師團長、第九百二十三師團長、第九百二十四師團長、第九百二十五師團長、第九百二十六師團長、第九百二十七師團長、第九百二十八師團長、第九百二十九師團長、第九百三十師團長、第九百三十一師團長、第九百三十二師團長、第九百三十三師團長、第九百三十四師團長、第九百三十五師團長、第九百三十六師團長、第九百三十七師團長、第九百三十八師團長、第九百三十九師團長、第九百四十師團長、第九百四十一師團長、第九百四十二師團長、第九百四十三師團長、第九百四十四師團長、第九百四十五師團長、第九百四十六師團長、第九百四十七師團長、第九百四十八師團長、第九百四十九師團長、第九百五十師團長、第九百五十一師團長、第九百五十二師團長、第九百五十三師團長、第九百五十四師團長、第九百五十五師團長、第九百五十六師團長、第九百五十七師團長、第九百五十八師團長、第九百五十九師團長、第九百六十師團長、第九百六十一師團長、第九百六十二師團長、第九百六十三師團長、第九百六十四師團長、第九百六十五師團長、第九百六十六師團長、第九百六十七師團長、第九百六十八師團長、第九百六十九師團長、第九百七十師團長、第九百七十一師團長、第九百七十二師團長、第九百七十三師團長、第九百七十四師團長、第九百七十五師團長、第九百七十六師團長、第九百七十七師團長、第九百七十八師團長、第九百七十九師團長、第九百八十師團長、第九百八十一師團長、第九百八十二師團長、第九百八十三師團長、第九百八十四師團長、第九百八十五師團長、第九百八十六師團長、第九百八十七師團長、第九百八十八師團長、第九百八十九師團長、第九百九十師團長、第九百九十一師團長、第九百九十二師團長、第九百九十三師團長、第九百九十四師團長、第九百九十五師團長、第九百九十六師團長、第九百九十七師團長、第九百九十八師團長、第九百九十九師團長、第一千師團長、第一千一師團長、第一千二師團長、第一千三師團長、第一千四師團長、第一千五師團長、第一千六師團長、第一千七師團長、第一千八師團長、第一千九師團長、第一千十師團長、第一千十一師團長、第一千十二師團長、第一千十三師團長、第一千十四師團長、第一千十五師團長、第一千十六師團長、第一千十七師團長、第一千十八師團長、第一千十九師團長、第一千二十師團長、第一千二十一師團長、第一千二十二師團長、第一千二十三師團長、第一千二十四師團長、第一千二十五師團長、第一千二十六師團長、第一千二十七師團長、第一千二十八師團長、第一千二十九師團長、第一千三十師團長、第一千三十一師團長、第一千三十二師團長、第一千三十三師團長、第一千三十四師團長、第一千三十五師團長、第一千三十六師團長、第一千三十七師團長、第一千三十八師團長、第一千三十九師團長、第一千四十師團長、第一千四十一師團長、第一千四十二師團長、第一千四十三師團長、第一千四十四師團長、第一千四十五師團長、第一千四十六師團長、第一千四十七師團長、第一千四十八師團長、第一千四十九師團長、第一千五十師團長、第一千五十一師團長、第一千五十二師團長、第一千五十三師團長、第一千五十四師團長、第一千五十五師團長、第一千五十六師團長、第一千五十七師團長、第一千五十八師團長、第一千五十九師團長、第一千六十師團長、第一千六十一師團長、第一千六十二師團長、第一千六十三師團長、第一千六十四師團長、第一千六十五師團長、第一千六十六師團長、第一千六十七師團長、第一千六十八師團長、第一千六十九師團長、第一千七十師團長、第一千七十一師團長、第一千七十二師團長、第一千七十三師團長、第一千七十四師團長、第一千七十五師團長、第一千七十六師團長、第一千七十七師團長、第一千七十八師團長、第一千七十九師團長、第一千八十師團長、第一千八十一師團長、第一千八十二師團長、第一千八十三師團長、第一千八十四師團長、第一千八十五師團長、第一千八十六師團長、第一千八十七師團長、第一千八十八師團長、第一千八十九師團長、第一千九十師團長、第一千九十一師團長、第一千九十二師團長、第一千九十三師團長、第一千九十四師團長、第一千九十五師團長、第一千九十六師團長、第一千九十七師團長、第一千九十八師團長、第一千九十九師團長、第二千師團長、第二千一師團長、第二千二師團長、第二千三師團長、第二千四師團長、第二千五師團長、第二千六師團長、第二千七師團長、第二千八師團長、第二千九師團長、第二千十師團長、第二千十一師團長、第二千十二師團長、第二千十三師團長、第二千十四師團長、第二千十五師團長、第二千十六師團長、第二千十七師團長、第二千十八師團長、第二千十九師團長、第二千二十師團長、第二千二十一師團長、第二千二十二師團長、第二千二十三師團長、第二千二十四師團長、第二千二十五師團長、第二千二十六師團長、第二千二十七師團長、第二千二十八師團長、第二千二十九師團長、第二千三十師團長、第二千三十一師團長、第二千三十二師團長、第二千三十三師團長、第二千三十四師團長、第二千三十五師團長、第二千三十六師團長、第二千三十七師團長、第二千三十八師團長、第二千三十九師團長、第二千四十師團長、第二千四十一師團長、第二千四十二師團長、第二千四十三師團長、第二千四十四師團長、第二千四十五師團長、第二千四十六師團長、第二千四十七師團長、第二千四十八師團長、第二千四十九師團長、第二千五十師團長、第二千五十一師團長、第二千五十二師團長、第二千五十三師團長、第二千五十四師團長、第二千五十五師團長、第二千五十六師團長、第二千五十七師團長、第二千五十八師團長、第二千五十九師團長、第二千六十師團長、第二千六十一師團長、第二千六十二師團長、第二千六十三師團長、第二千六十四師團長、第二千六十五師團長、第二千六十六師團長、第二千六十七師團長、第二千六十八師團長、第二千六十九師團長、第二千七十師團長、第二千七十一師團長、第二千七十二師團長、第二千七十三師團長、第二千七十四師團長、第二千七十五師團長、第二千七十六師團長、第二千七十七師團長、第二千七十八師團長、第二千七十九師團長、第二千八十師團長、第二千八十一師團長、第二千八十二師團長、第二千八十三師團長、第二千八十四師團長、第二千八十五師團長、第二千八十六師團長、第二千八十七師團長、第二千八十八師團長、第二千八十九師團長、第二千九十師團長、第二千九十一師團長、第二千九十二師團長、第二千九十三師團長、第二千九十四師團長、第二千九十五師團長、第二千九十六師團長、第二千九十七師團長、第二千九十八師團長、第二千九十九師團長、第三千師團長、第三千一師團長、第三千二師團長、第三千三師團長、第三千四師團長、第三千五師團長、第三千六師團長、第三千七師團長、第三千八師團長、第三千九師團長、第四千師團長、第四千一師團長、第四千二師團長、第四千三師團長、第四千四師團長、第四千五師團長、第四千六師團長、第四千七師團長、第四千八師團長、第四千九師團長、第五千師團長、第五千一師團長、第五千二師團長、第五千三師團長、第五千四師團長、第五千五師團長、第五千六師團長、第五千七師團長、第五千八師團長、第五千九師團長、第六千師團長、第六千一師團長、第六千二師團長、第六千三師團長、第六千四師團長、第六千五師團長、第六千六師團長、第六千七師團長、第六千八師團長、第六千九師團長、第七千師團長、第七千一師團長、第七千二師團長、第七千三師團長、第七千四師團長、第七千五師團長、第七千六師團長、第七千七師團長、第七千八師團長、第七千九師團長、第八千師團長、第八千一師團長、第八千二師團長、第八千三師團長、第八千四師團長、第八千五師團長、第八千六師團長、第八千七師團長、第八千八師團長、第八千九師團長、第九千師團長、第九千一師團長、第九千二師團長、第九千三師團長、第九千四師團長、第九千五師團長、第九千六師團長、第九千七師團長、第九千八師團長、第九千九師團長、第一萬師團長、第一萬一師團長、第一萬二師團長、第一萬三師團長、第一萬四師團長、第一萬五師團長、第一萬六師團長、第一萬七師團長、第一萬八師團長、第一萬九師團長、第二萬師團長、第二萬一師團長、第二萬二師團長、第二萬三師團長、第二萬四師團長、第二萬五師團長、第二萬六師團長、第二萬七師團長、第二萬八師團長、第二萬九師團長、第三萬師團長、第三萬一師團長、第三萬二師團長、第三萬三師團長、第三萬四師團長、第三萬五師團長、第三萬六師團長、第三萬七師團長、第三萬八師團長、第三萬九師團長、第四萬師團長、第四萬一師團長、第四萬二師團長、第四萬三師團長、第四萬四師團長、第四萬五師團長、第四萬六師團長、第四萬七師團長、第四萬八師團長、第四萬九師團長、第五萬師團長、第五萬一師團長、第五萬二師團長、第五萬三師團長、第五萬四師團長、第五萬五師團長、第五萬六師團長、第五萬七師團長、第五萬八師團長、第五萬九師團長、第六萬師團長、第六萬一師團長、第六萬二師團長、第六萬三師團長、第六萬四師團長、第六萬五師團長、第六萬六師團長、第六萬七師團長、第六萬八師團長、第六萬九師團長、第七萬師團長、第七萬一師團長、第七萬二師團長、第七萬三師團長、第七萬四師團長、第七萬五師團長、第七萬六師團長、第七萬七師團長、第七萬八師團長、第七萬九師團長、第八萬師團長、第八萬一師團長、第八萬二師團長、第八萬三師團長、第八萬四師團長、第八萬五師團長、第八萬六師團長、第八萬七師團長、第八萬八師團長、第八萬九師團長、第九萬師團長、第九萬一師團長、第九萬二師團長、第九萬三師團長、第九萬四師團長、第九萬五師團長、第九萬六師團長、第九萬七師團長、第九萬八師團長、第九萬九師團長、第十萬師團長、第十萬一師團長、第十萬二師團長、第十萬三師團長、第十萬四師團長、第十萬五師團長、第十萬六師團長、第十萬七師團長、第十萬八師團長、第十萬九師團長、第十一萬師團長、第十一萬一師團長、第十一萬二師團長、第十一萬三師團長、第十一萬四師團長、第十一萬五師團長、第十一萬六師團長、第十一萬七師團長、第十一萬八師團長、第十一萬九師團長、第十二萬師團長、第十二萬一師團長、第十二萬二師團長、第十二萬三師團長、第十二萬四師團長、第十二萬五師團長、第十二萬六師團長、第十二萬七師團長、第十二萬八師團長、第十二萬九師團長、第十三萬師團長、第十三萬一師團長、第十三萬二師團長、第十三萬三師團長、第十三萬四師團長、第十三萬五師團長、第十三萬六師團長、第十三萬七師團長、第十三萬八師團長、第十三萬九師團長、第十四萬師團長、第十四萬一師團長、第十四萬二師團長、第十四萬三師團長、第十四萬四師團長、第十四萬五師團長、第十四萬六師團長、第十四萬七師團長、第十四萬八師團長、第十四萬九師團長、第十五萬師團長、第十五萬一師團長、第十五萬二師團長、第十五萬三師團長、第十五萬四師團長、第十五萬五師團長、第十五萬六師團長、第十五萬七師團長、第十五萬八師團長、第十五萬九師團長、第十六萬師團長、第十六萬一師團長、第十六萬二師團長、第十六萬三師團長、第十六萬四師團長、第十六萬五師團長、第十六萬六師團長、第十六萬七師團長、第十六萬八師團長、第十六萬九師團長、第十七萬師團長、第十七萬一師團長、第十七萬二師團長、第十七萬三師團長、第十七萬四師團長、第十七萬五師團長、第十七萬六師團長、第十七萬七師團長、第十七萬八師團長、第十七萬九師團長、第十八萬師團長、第十八萬一師團長、第十八萬二師團長、第十八萬三師團長、第十八萬四師團長、第十八萬五師團長、第十八萬六師團長、第十八萬七師團長、第十八萬八師團長、第十八萬九師團長、第十九萬師團長、第十九萬一師團長、第十九萬二師團長、第十九萬三師團長、第十九萬四師團長、第十九萬五師團長、第十九萬六師團長、第十九萬七師團長、第十九萬八師團長、第十九萬九師團長、第二十萬師團長、第二十萬一師團長、第二十萬二師團長、第二十萬三師團長、第二十萬四師團長、第二十萬五師團長、第二十萬六師團長、第二十萬七師團長、第二十萬八師團長、第二十萬九師團長、第二十一萬師團長、第二十一萬一師團長、第二十一萬二師團長、第二十一萬三師團長、第二十一萬四師團長、第二十一萬五師團長、第二十一萬六師團長、第二十一萬七師團長、第二十一萬八師團長、第二十一萬九師團長、第二十二萬師團長、第二十二萬一師團長、第二十二萬二師團長、第二十二萬三師團長、第二十二萬四師團長、第二十二萬五師團長、第二十二萬六師團長、第二十二萬七師團長、第二十二萬八師團長、第二十二萬九師團長、第二十三萬師團長、第二十三萬一師團長、第二十三萬二師團長、第二十三萬三師團長、第二十三萬四師團長、第二十三萬五師團長、第二十三萬六師團長、第二十三萬七師團長、第二十三萬八師團長、第二十三萬九師團長、第二十四萬師團長、第二十四萬一師團長、第二十四萬二師團長、第二十四萬三師團長、第二十四萬四師團長、第二十四萬五師團長、第二十四萬六師團長、第二十四萬七師團長、第二十四萬八師團長、第二十四萬九師團長、第二十五萬師團長、第二十五萬一師團長、第二十五萬二師團長、第二十五萬三師團長、第二十五萬四師團長、第二十五萬五師團長、第二十五萬六師團長、第二十五萬七師團長、第二十五萬八師團長、第二十五萬九師團長、第二十六萬師團長、第二十六萬一師團長、第二十六萬二師團長、第二十六萬三師團長、第二十六萬四師團長、第二十六萬五師團長、第二十六萬六師團長、第二十六萬七師團長、第二十六萬八師團長、第二十六萬九師團長、第二十七萬師團長、第二十七萬一師團長、第二十七萬二師團長、第二十七萬三師團長、第二十七萬四師團長、第二十七萬五師團長、第二十七萬六師團長、第二十七萬七師團長、第二十七萬八師團長、第二十七萬九師團長、第二十八萬師團長、第二十八萬一師團長、第二十八萬二師團長、第二十八萬三師團長、第二十八萬四師團長、第二十八萬五師團長、第二十八萬六師團長、第二十八萬七師團長、第二十八萬八師團長、第二十八萬九師團長、第二十九萬師團長、第二十九萬一師團長、第二十九萬二師團長、第二十九萬三師團長、第二十九萬四師團長、第二十九萬五師團長、第二十九萬六師團長、第二十九萬七師團長、第二十九萬八師團長、第二十九萬九師團長、第三十萬師團長、第三十萬一師團長、第三十萬二師團長、第三十萬三師團長、第三十萬四師團長、第三十萬

漢文臺灣日日新報

復黨運判狀約五十名
若總裁幹部等反對時
強硬派欲樹立新黨

十五日東京電。民政黨安達謙藏氏復黨運判狀。十四日既達五十餘名。岡崎人等。不屬於幹部之抑壓。欲使之達七、八十名。乃於小池仁郎氏之手收錄。一兩日中。提示若槻總裁。以壯其勢力。安達富田氏等之復黨。須使之實現。岡崎人等。忍黨倫黨規。憤其言動。運動將轉銳之。而總裁黨幹部反對。臺硬派必轉向於新黨運動。愈見深刻化也。

對於復黨運動
幹部不作積極態度

十五日東京電。民政黨安達氏之復黨運動表面化。小山幹事長。十四日於議會散會後。在日本俱樂部。與岡田筆頭總務會見。幹部以事態猶未切迫。若幹部彈壓之。反使事態惡化。此際不取積極的態度。由內面的方面。求個々諒解。極力防問題之重大化云。

幹部訪問若槻總裁
議復黨運動對策

十五日東京電。民政黨內安達氏復黨運動激化。頃母木幹事、岡川崎總務。十五日午前十時半。訪若槻總裁於自邸。協議幹部對策。

閉院式勅語

十九日東京電。議會閉院式勅語如左。

勅語

朕告貴族院及衆議院各員。朕以本日。命帝國議會閉會。仰嘉朕則之勤精。克盡協贊任務之勞。

朕林省正作製原案。大體完成。近將公布。而兩案大體將用省令也。

陳友仁氏
偕夫人渡法

十四日上海電。與孫科協力。煽動第十九路軍。惹起上海事件。有力資任者一人之前國民政府外交部長陳友仁氏。十四日與其夫人同伴。乘某外國汽船赴法國。途中在香港與廣東派議今後對策。

十九國委員會
開期未定

十四日倫府電。十九國委員會議長伊發氏。昨夜抵當地。所談如左。

十九國委員會。開期未定。然在余個人意見。于九國委員會。無即時

滯糸法案
細則作製中
將布農林省令

十五日東京電。滯貨繭買收法設善後處理法施行細則。農林省正作製原案。大體完成。近將公布。而兩案大體將用省令也。

豫算及法律案通過
齋藤首相參內上奏

十五日東京電。齋藤首相。十五日午前十一時三十分參內宮中。拜謁天皇陛下。上奏通加豫算及法律案通過兩院。正午退下。

南京廣東或至妥協
廬山會議內訌

十四日南京電。汪兆銘、李石曾、蔣中正後。開大會議內容如左。

一、對於宋子文。陳銘樞復職拒絕善後策。
二、財政問題。阿片專賣問題。
三、與廣東派之妥協。
將討議各問題。依其結果。廣東派南京派。或至急激妥協也。

北平特別警官隊
與公安局起內訌

十四日上海電。緊編我軍撤退後協定區域之北平特別警官隊。與上海公安局之間生內訌。警察隊於十四日朝來意業。原因乃公安局檢舉。事務不能遂行。形勢頗堪注目。

馬占山無容身之地
挈眷家族欲遁入外蒙古

十五日新京電。擁滿洲國所接情報。馬占山身邊已危險。與其家族。欲亡命於俄國。將自黑龍江遁入。十三日午後三時。謀俄官憲拒馬之入俄。氏已無容身之地。將其家族託警課長吳松林。遁入外蒙古。已自張家口出發。

中川總督
細心之必要也。
將布農林省令
門司出發

十五日門司電。中川新亞灣總督。十五日正午。乘門司出帆。遂來九。受關門有志多數送行赴任。

伯林共產黨
襲日人俱樂部

十四日伯林電。十四日午後。有攜榮統之共產黨員五名。突然襲擊伯林日本人俱樂部。發射榮統三回撒布宣傳單。記載「共產黨前衛隊。取排擊日本帝國主義之行動」。起大混亂幸無死傷者。警官接急報馳到時。共產黨已逃亡。犯人俱未逮捕。

全國有價證券
時價總額

十五日東京電。東株調查六月一日現在全國有價證券時價總額。

株式百二億四千九百萬圓。
公債四十三億六千二百萬圓。
社債四十五億五千八百萬圓。
外債十八億八千五百萬圓。
總計二百二十五億千百萬圓。
▲五月一日總額。降低五億三千五百萬圓。

瑠公水利組合
事務所落成

瑠公水利組合事務所築落成式。去十四日午前十一時。在臺北州廳內。同新築事務所舉式。有中川知事。福元。與川兩部長。玉手地方。前川土木兩課長。西澤市尹。其他來賓臨席。先由臺灣神社神官祭修祓。降神。獻饌。祝詞。次中川知事及關係者奉玉串。小林組合長謹式辭。篠原州技手。報告工事。中川知事敘禮。來賓關軟綢氏。述祝辭。終撤饌。昇神。正午閉式。次在同所。開祝宴。下午一時頃散會。又該新築事務所。工費金四千三百圓。容年十二月興工。來月六日竣功。總述坪二十七坪餘云。

意國領事
訪督府敘禮

新任意國臺北領事館事務官亞卓爾總領事。去十五日午前。往總督府訪問小濱長官代理。敘領事館新設總辭。由是歷訪軍司令官。兩法院長。逐廣局長。州知事。市尹。稅關長。交通局總長等。敘新任之禮云。

臺灣鹿深青畫會作如水社展覽中　鄭汇立氏山水

大稻埕城隍遶境
各團體活動彙報

▲青年團活動　大稻埕青年團。於城隍祭典日前後。在市內各處。設救護所。全團員出動。

▲乘合車運轉　市營乘合車。自十五日。至十八日。臨時運轉。各線增車。以圖地方觀客利便。

▲醫師會救護　臺北醫師會員。增於祭典當日設置時救護所。地方觀客。若有急病。可得就附近醫院診察。

▲商人聯合大賣　布商老成幾號。準大賣出。大奉仕品花布。每尺二錢。文化公司。對購買二十錢以上顧客。贈呈日光展覽甘觀覽券一枚。以廣招徠。

▲北署交通整理　北警察署。因霪例年。祭典前後交通混雜。乃於去十四日起。加配巡查。極力為交通整理。以防發生事故。

▲紅燈詐欺賭博　市內無捷建築店舖。而商工雜行。連夜賭博。十四日午前九時半。寒其女金變嫂。

時評

○

第六十二議會閉院式。安然舉行。政民協力支持。重大議案。通過。齊藤內閣略得收拾難局。然東要去就分明。

○

內田伯。自初無意就外相職。因首相力勸。陸相希望。始慨然允就。稍擬商任大連。求軍司令官辭。整理本任。而或內意全是。官不可徒以危言聳人怒之。

○

新總督。有建設空言。為林正長等。陳情減免。良非得已。一時救濟行賑。行願言賑不容緩之見出耶。

○

三井家。慈捐三百萬圓。救濟貧民。又增社員資水七千除名。待人接物。以恩以惠。實來翻行。功德無量矣。

○

本年來。亞氣會乘。國計民生。莫不支離。欲公課完納。難之又難。中州二林止長等。陳情減免。良非得已。一時救濟行賑。務求查定不容緩之見出耶。

○

朝鮮銀行。標準金利。降下一厘。北之臺灣銀行。發表降下一厘。乃至二厘。一何貢哉。一何老猾。一眠明矣。

○

為危亡之兆。至誠盡國。不可徒以危言聳人怒之。

○

新總督。有建設空言。為林正長等。陳情減免。良非得已。一時救濟行賑。務求查定不容緩之見出耶。

○

朝鮮銀行。標準金利。降下一厘。北之臺灣銀行。發表降下一厘。乃至二厘。一何貢哉。一何老猾。一眠明矣。

○

為危亡之兆。至誠盡國。不可徒以危言聳人怒之。

○

新總督。有建設空言。為林正長等。陳情減免。良非得已。一時救濟行賑。務求查定不容緩之見出耶。

○

三井家。慈捐三百萬圓。救濟貧民。又增社員資水七千除名。待人接物。以恩以惠。實來翻行。功德無量矣。

○

本年來。亞氣會乘。國計民生。莫不支離。欲公課完納。難之又難。中州二林止長等。陳情減免。良非得已。一時救濟行賑。務求查定不容緩之見出耶。

○

朝鮮銀行。標準金利。降下一厘。北之臺灣銀行。發表降下一厘。乃至二厘。一何貢哉。一何老猾。一眠明矣。

○

為危亡之兆。至誠盡國。不可徒以危言聳人怒之。

○

新總督。有建設空言。為林正長等。陳情減免。良非得已。一時救濟行賑。務求查定不容緩之見出耶。

○

三井家。慈捐三百萬圓。救濟貧民。又增社員資水七千除名。待人接物。以恩以惠。實來翻行。功德無量矣。

○

本年來。亞氣會乘。國計民生。莫不支離。欲公課完納。難之又難。中州二林止長等。陳情減免。良非得已。一時救濟行賑。務求查定不容緩之見出耶。

○

朝鮮銀行。標準金利。降下一厘。北之臺灣銀行。發表降下一厘。乃至二厘。一何貢哉。一何老猾。一眠明矣。

○

為危亡之兆。至誠盡國。不可徒以危言聳人怒之。

○

新總督。有建設空言。為林正長等。陳情減免。良非得已。一時救濟行賑。務求查定不容緩之見出耶。

○

三井家。慈捐三百萬圓。救濟貧民。又增社員資水七千除名。待人接物。以恩以惠。實來翻行。功德無量矣。

羅東街建築工事
及街面程種發展計畫

既報羅東郡役所跡地。自去年十一月。拂下于民間。建築店舖。而商工雜行。連夜賭博。市內無捷。四腳亭。其他二。在該大運動場。三野球園。邀請臺北帝大。野球團。造二月六日。再向某者。至某期日內。非支出五百圓。則契約無效。某貴其無理。欲索取前金。由嘉義郡。魯運息事。林瓊不服。以下

南京廣東或至妥協
廬山會議內容

十四日南京電。汪兆銘、李石曾、蔣中正後。開大會議內容如左。

一、對於宋子文。陳銘樞復職拒絕善後策。
二、財政問題。阿片專賣問題。
三、與廣東派之妥協。
將討議各問題。依其結果。廣東派南京派。或至急激妥協也。

北平特別警官隊
與公安局起內訌

十四日上海電。緊編我軍撤退後協定區域之北平特別警官隊。與上海公安局之間生內訌。警察隊於十四日朝來意業。原因乃公安局檢舉。事務不能遂行。形勢頗堪注目。

馬占山無容身之地
挈眷家族欲遁入外蒙古

十五日新京電。擁滿洲國所接情報。馬占山身邊已危險。與其家族。欲亡命於俄國。將自黑龍江遁入。十三日午後三時。謀俄官憲拒馬之入俄。氏已無容身之地。將其家族託警課長吳松林。遁入外蒙古。已自張家口出發。

南投名間庄
籌設自治研究會
十二日開發起人會

三十餘名。於信組合議室來賓有山口庄長外數氏。開會後即舉吳騏欽氏為座長。後說明會名以與宗之故。次擇定會則十五條。然後散會。次日午後一時。在吳姓祖祠舉發會式。終有山口長。張慶堂勸之部散會。

嘉義外溪洲
農小組合
分兩派競爭

嘉義郡下。水上庄外溪洲農事小組合。本年四月中組合長林瓊。告訴副組合長林樹木氏。橫領四千圓。因風無根。由嘉義郡。魯運息事。林瓊不服。以下

橋頭相避
其一落溝

北三二六號。貨物自動車。轉手鐘玉田。去十五日午前九時頃。山羅東。載貨物。至蘇澳沿泉橋。忽逢某貨物自動車。由前面疾走而來。欲為相避。該車更逆入頭落橋頭。左側水溝。車體機關故障。運轉手。及客力二名。幸皆無傷。警察課聞報。急赴現場檢查云。

貨物自動車
橋頭相避
其一落溝

北三二六號。貨物自動車。轉手鐘玉田。去十五日午前九時頃。山羅東。載貨物。至蘇澳沿泉橋。忽逢某貨物自動車。由前面疾走而來。欲為相避。該車更逆入頭落橋頭。左側水溝。車體機關故障。運轉手。及客力二名。幸皆無傷。警察課聞報。急赴現場檢查云。

許言許可日月潭砂利
可得獲利二三萬圓
被州吉田刑事拘去取調

管野惠文。年四十。素無前科。住落北十塊寮。宿在市內大喝和荒木旅人宿所。去十三日。被臺北州刑事課吉田刑事拘去。嚴重查究中。查此。偽正名。為管野清。會以代人許可搬運。動種蕃為餌。騙取金錢。被害者。聞不乏人。例若本年正月二十九日。向市內官前町謀良某。業菜。許言彼以武內一名。幸。申請許可日月潭砂利。每坪最低得利三圓。計有二百五千五百圓。但關此運動費八百餘圓。須於明日交清。否

半年宿料不支
迫之去頑不肯聽
提出告訴于當局

臺北市若竹町。下宿業四。下宿業。有園地一七一番。及國屋主人山中初子。對北東勢郡石岡庄土午之山地。嚴提出投宿人安宅泰太郎。不支給旅館費半文。略謂。安宅。為販賣。梁生川防水。自客年末。投宿于四國屋。每日酒小說。或招友。圍碁。極少回往。為是山中頗抱疑念。遂向安宅請求宿金。彼云生理失敗。欲將已有在內。地之山園。託兄代售。希暫待。該金送到。無何。再經數月。皆無消息。遂再向安宅請求。其時彼却云面。託其兄。實。田不果。現向鄉里勤務役場友人。用某信破商中。後竟不得要領。乃迫之出門。然彼却答云。急切難辦。下宿屋。請再待一週間。當付某向內地取金。頑不肯搬出。至今半年。被倒去房資食料二百四十三圓二十五錢也。

割情婦兩耳
傷右手
兇手被捕仕

基隆市瀨川町。岸田材木店苦力。歐伯余。年二十九。二年前。與其情婦李千香。年二十。同棲至今。最近探知香外別有所眷。憤慨之餘。於去十五日午前七時四十分。率香往其姊家。途至軍砲兵大隊前道路。突將香押倒。擬身跨於香之身上。出土林刀。割去其兩耳。及傷其右手。後欲走脫。被基隆署接急報。矢部及連兩刑事。赴現場捕注。兇手自悉行兇。往觀之人。其雜沓云。

新竹

保安林除

庄落若竹郡頂港庄。十塊寮。堡十塊。有原野一筆。地番二。九六三。面積十九甲七分四厘二毫七絲。自領字號。山民石林。組入為保安林。者番。願土地整理。路圓筆原野之一部。面積五分八厘。擔下於石民開。經公告。並解除一部之編入也。

轉告清塚

金瓜石進上所見

堂南　西川　鐵

高興一番族人煙。度除輕車到組織。決當雞龍孤嶼小斜陽影裡。油光如金瓜石貢寮偶成

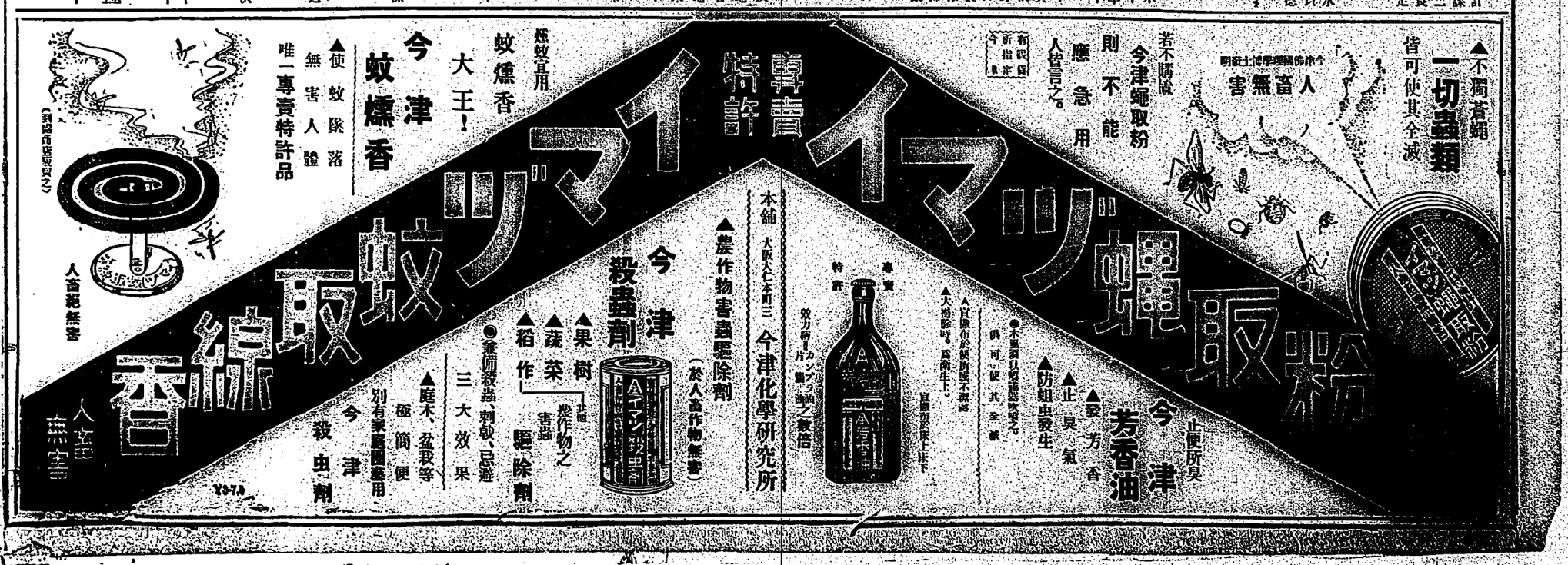
松亭登高望千帆。驚見樓船向海風。一笑名山開宴用。恍疑身在蓬萊中。

長仁坑二首

長仁坑內氣陰森。岩脈穿通鏡脈尋。造化應藏人智進。

綠山終歲作黃金。鑿開岩骨幾千尋。驚見樓船貢道深。采拾鄭虔須石耳。誰知錦裡亦含金。

廣告

中國古玩書畫
玉器古硯印材
自十五日至二十日四川館二階上
方培軒

專門小兒科內科
余祖賜